

# 彦根市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画(素案)



令和8年3月

彦根市

# 目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 国等の動向	2
3 計画の位置付けと期間	2
4 計画の対象	2
第2章 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の現状と課題	3
1 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の現状	3
2 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の今後の課題	7
第3章 人口の動向と将来推計	9
1 人口の推移	9
2 出生の動向	10
3 就学前児童数の推移	11
4 就学前児童数の将来推計	12
第4章 幼稚園・保育所・こども園の児童数の現状と将来推計	14
1 幼稚園・こども園の現状	14
2 保育所・こども園の現状	17
3 教育・保育ニーズ量の将来推計	23
第5章 公立幼稚園・保育所・こども園の施設整備計画	24
1 現状と今後の基本的な考え方	24
2 施設整備の形態	25
3 施設整備の進め方	25
4 地区別の状況と具体的方向性	26
5 施設ごとの年次整備計画	60
6 計画の推進	61

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 2

- 1 彦根市子ども・若者会議条例・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 5
- 2 彦根市子ども・若者会議 幼保一元化検討部会委員名簿・・・・・・・・ 4 7
- 3 計画策定の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

## 1 計画策定の趣旨

本市には、令和 7 年 4 月 1 日時点で就学前児童の教育・保育施設として、公立幼稚園 7 園、公立保育所 3 園、公立こども園 1 園、私立幼稚園 1 園、私立認可保育所 26 園、私立こども園 4 園、私立地域型保育事業所 5 園があります。

公立幼稚園は 7 園が、また、公立保育所では 2 園が、築後 30 年を経過していることから、老朽化が著しい施設については、今後、施設の全面改築や大規模改修を行う必要があります。

併せて、就学前児童への安全・安心な教育環境・保育環境を確保していくため、公立園全てにおいて計画的に施設の長寿命化を図る必要もあります。

また、公立幼稚園・保育所の老朽化に伴う整備においては、今後の教育・保育ニーズにも対応していくため、就学前児童数や教育・保育ニーズ量の将来推計に基づき、地域毎の教育・保育の需要と供給のバランスを考慮分析しながら、認定こども園への移行や施設の統廃合等、効率的・効果的な整備を行う必要があります、ここに基本計画となる公立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画を策定します。

---

※ 本計画においては、彦根市が設置主体の施設を「公立」、それ以外の施設を「私立」と表記します。

※ 本計画における「整備」とは、施設の長寿命化（既存施設を安全・安心な状態で長期間使用できるように改修を行うこと。）、増改築、更新（建替え）、統廃合等をいいます。

## 2 国等の動向

国は公共施設の老朽化に伴う死亡事故が発生していることを受け、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、併せて総務大臣は、平成 26 年 4 月に地方版の行動計画である「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に対して要請しました。

本市も平成 27 年度に今後も必要な市民サービスを提供していくため、公共施設全体を把握し、計画的な更新、統廃合、長寿命化を検討するとともに、財源の確保や効率的、効果的な施設運営等によってコストと便益が最適な状態で保たれた上で、「安全・安心な公共施設マネジメントの確立」をするための骨子となる「彦根市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

その後、令和 3 年 1 月に国は地方公共団体に対し、「公共施設等総合管理計画」の施設保有数の推移や個別施設計画の内容を踏まえた「維持・更新に係る経費」「長寿命化対策を反映した場合の見込み」「対策の効果額」といった数値の精緻化等見直しを求め、本市もこれまで策定を行ってきた個別施設計画の内容を集約・統合することで、改めて今後の公共施設マネジメントのあり方を検討するため、令和 4 年 3 月に「彦根市公共施設等総合管理計画」の改定が行われました。

## 3 計画の位置付けと期間

本計画は、「彦根市総合計画」をはじめ、「彦根市子ども・若者プラン」および「彦根市公共施設等総合管理計画」との整合を図ります。

なお、本計画の期間は、社会経済情勢の変化に対応するため、令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間の計画とし、策定年度から 5 年目に当たる令和 12 年度に計画の中間見直しを行うこととしています。

## 4 計画の対象

本計画の対象は、公立幼稚園 5 園、公立保育所 3 園、公立こども園 1 園とします。

---

※ 「彦根市子ども・若者プラン」とは、子ども・子育て支援法等に基づく法定計画(第 3 期:令和 7 年度～令和 11 年度)であり、本市における保育・教育および地域子ども・子育て支援事業等の子ども・若者を取り巻く各種支援の包括的な整備に向けた計画です。

## 1 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の現状

公立幼稚園は 7 園が、公立保育所では 2 園が、築後 30 年を経過しています。老朽化の著しい施設については、雨漏れの修繕やトイレ修繕などの小規模な施設修繕を施しているところですが、既存施設を安全・安心な状態で維持していくとなると、これからの 10 年間で全面改築や大規模改修が必要となり、多大な整備費用が必要となります。

子どもたちの安全の確保はもちろんのこと、公共施設のマネジメントの観点からも、計画的かつ効率的・効果的な施設の整備を進めていく必要があります。

### (1) 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の概要 ●●●●●●●●

施設名	定員	建築年	経過年数	構造	増築年等	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震化整備
彦根幼稚園	45 人	平成 2 年	35 年	RC 造 2 階建	—	2,614	1,200	不要
高宮幼稚園	45 人	昭和 60 年	40 年	鉄骨造平屋建	平成 19 年	2,507	738	不要
稲枝東幼稚園	30 人	昭和 52 年	48 年	鉄骨造平屋建	平成 29 年	1,311	384	済
旭森幼稚園	75 人	昭和 53 年	47 年	鉄骨造平屋建	昭和 56 年	5,546	688	済
城北幼稚園	30 人	昭和 54 年	46 年	鉄骨造平屋建	昭和 55 年	2,780	590	済
佐和山幼稚園	55 人	昭和 63 年	37 年	鉄骨造平屋建	—	3,164	688	不要
城陽幼稚園	60 人	平成 4 年	33 年	鉄骨造平屋建	—	4,501	724	不要
西保育園	110 人	昭和 60 年	40 年	鉄骨造平屋建	平成 30 年	2,102	747	不要
東保育園	120 人	平成 4 年	33 年	RC 造 2 階建	平成 25 年	2,015	889	不要
ふたば保育園	140 人	平成 15 年	22 年	鉄骨造平屋建	—	3,215	1,072	不要
平田こども園	(1 号)110 人	平成 29 年	8 年	木造 2 階建	—	6,215	1,844	不要
	(2・3 号)90 人							

※ 経過年数は、令和 7 年 4 月 1 日現在。

※ 面積は、幼稚園・こども園は公立学校施設台帳、保育所は公有財産建物台帳に基づきます。

※ 令和 7 年度末までに撤去したプレハブ園舎(リース)分は除いています。

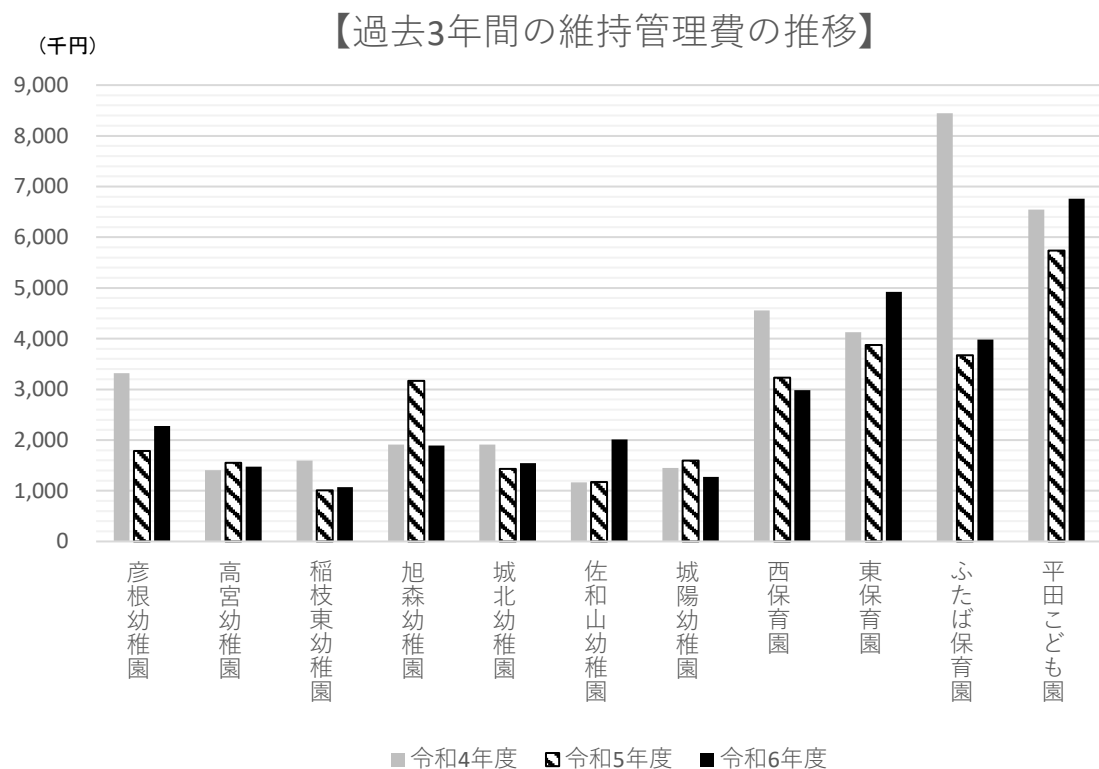
(稲枝東幼稚園 157 m<sup>2</sup>、旭森幼稚園 184 m<sup>2</sup>)

## （２）維持管理経費の状況 ● ● ● ● ● ● ● ●

本計画における維持管理経費は、光熱水費、修繕料・工事請負費（概ね１件１００万円未満）、委託料（警備・清掃）、保守点検（消防設備・電気設備・遊具安全点検）の経常的費用とし、各園別の過去３年間の費用の推移は次のグラフになります。

幼稚園と保育所・こども園を比較すると、大きな差が生じていますが、保育所・こども園は、幼稚園と比較した場合に、「夏休み等の長期休暇がない」、「１日当たりの保育時間が長い」などのことから光熱水費や委託料等が多く発生するため、維持管理経費が高くなっています。

その他、年度ごとの修繕料・工事請負費の多少によって変化しています。

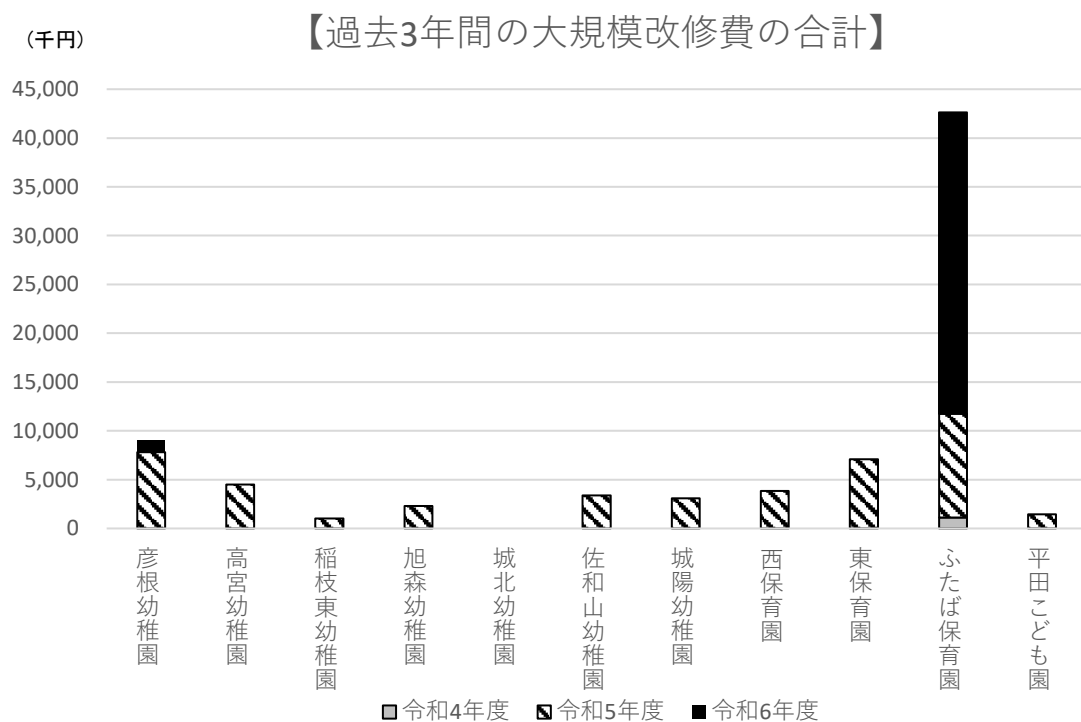


### (3) 大規模改修費の状況 ●●●●●●●●

本計画における大規模改修費は、概ね1件 100 万円を超える施設や設備の老朽化に対する改修に要した費用とし、各園別の過去3年間の費用の推移は次のグラフになります。

ふたば保育園は令和4年度から令和6年度の3か年をかけ、空調設備の改修工事を行っていることから工事請負費が発生しています。

彦根・高宮・稲枝東・旭森・佐和山・城陽幼稚園、西・東保育園、平田こども園は令和5年度に園児用トイレの洋式化・水道の自動水栓化工事をおこなったことから、工事請負費が発生しています。





#### (4) 施設の老朽度合い ●●●●●●●●

平成 27 年度に施設の現地調査を行った結果、老朽度合いについては次の表のとおりとなりました。

城北幼稚園については、屋根材、外壁、外壁大梁、鉄鋼柱等の構造躯体の老朽度合いが限界に達しているため更新が必要との結果となりました。

また、このほかの施設は、大規模改修等で施設の長寿命化が図れるとの結果となりました。(平成 28 年 3 月時点)

【施設の老朽度合い】

施設名	老朽度合い	部位ごとの老朽状況（躯体に関わるもの）
彦根幼稚園	A	外壁の経年劣化
高宮幼稚園	B	屋根材・外壁の経年劣化
稲枝東幼稚園	B	屋根材・外壁の経年劣化
旭森幼稚園	B	屋根材・外壁の経年劣化、勾配不足
城北幼稚園	D	屋根材の経年劣化、外壁大梁露出
佐和山幼稚園	A	外壁の経年劣化
城陽幼稚園	A	屋根材・外壁の経年劣化
西保育園	A	外壁の経年劣化
東保育園	B	屋根材・外壁の経年劣化

※ 老朽度合いが低いものから順に A から D としています。

区分	老朽度合い
A	小規模改修により長寿命化が可能
B	大規模改修により長寿命化が可能
C	更新が必要
D	優先して更新が必要

※ ふたば保育園は調査日の段階で比較的新しい施設であるため現地調査を行っていません。

※ 平田こども園は調査日以降の建築のため、記載はありません。

## 2 公立幼稚園・保育所・こども園の施設の今後の課題

### (1) 整備に要する費用の課題 ●●●●●●●●

平成 28 年度時点に実施した調査では、小規模改修・大規模改修により長寿命化が可能な施設は 9 園となっており、平成 28 年～令和 7 年 5 月時点での単価上昇率（約 39%上昇）を乗じると、合計で約 8,500 万円の改修費用が必要となることが予想されます。また、更新が必要な施設は 1 園となっており、既存施設と同等の施設で更新する場合は合計で約 3 億 5,000 万円の更新費用が必要となることが予想されます。

ただし、改修費用は平成 28 年度時点での改修箇所を基に算出したものであり、現時点では、調査時よりも老朽化が進んでいることから、より高額な改修費用が必要となることが予想されます。本市の財政状況を考慮すると、引き続き全園の維持管理を図るのは、非常に困難であり、教育・保育ニーズを鑑みつつ、統廃合を進めていく必要があります。

#### 【今後 10 年間(令和 8 年度～令和 17 年度)の整備に要する費用】

(単位：千円)

施設名	改修に要する費用	更新に要する費用
彦根幼稚園	5,062	—
高宮幼稚園	14,189	—
稲枝東幼稚園	23,074	—
旭森幼稚園	20,144	—
城北幼稚園	—	342,849
佐和山幼稚園	3,962	—
城陽幼稚園	3,869	—
西保育園	1,905	—
東保育園	11,444	—
ふたば保育園	1,290	—
平田こども園	—	—
合計	84,939	342,849

※ふたば保育園以外の費用は、平成 28 年に実施した現地調査を基に作成した建築工事設計額に「建設物価 建築費指数」にて算出した平成 28 年～令和 7 年 5 月時点での単価上昇率（約 39%上昇）を乗じ算出しています。

※ふたば保育園の費用は、令和 6 年に実施した現地調査を基に作成した建築工事設計額に「建設物価 建築費指数」にて算出した令和 6 年～令和 7 年 5 月時点での単価上昇率（約 3%上昇）を乗じ算出しています。

※既存の施設形態のまま整備を行った場合の工事費（解体費は含み、消費税は除く。）で、外構工事および用地取得費は除きます。

※平田こども園は調査日以降の建築であり、かつ現状では大規模な工事を必要とする修繕箇所がないため、算出していません。

## (2) 施設の立地状況から見た課題 ● ● ● ● ● ● ● ●

一部を除き、多くの公立幼稚園・保育所・こども園は市街化区域に立地し、近隣に住宅が密接しています。また、旧市街地等に立地しているため、駐車場が不足している施設が多くあります。このため、送迎に伴う混雑等の課題があります。

施設名	小学校区	所在地	立地状況	課題
彦根幼稚園	城西	本町 1-3-33	旧市街地に立地している。	自動車での登園が増え、園前道路では駐車待ちの自動車で混雑することがあり、近隣の業者・地主から駐車場用土地を借りて対応しているが、もう少し送迎用駐車場の確保が必要である。(110,000 円/月)
高宮幼稚園	高宮	高宮町 2391	旧市街地に立地している。	自動車での登園が増え、近隣の業者・地主から駐車場用土地を借りて対応している。(24,400 円/月)
稲枝東幼稚園	稲枝東	稲部町 315-1	市街化調整区域に立地している。	平成 27 年度に、将来的な稲枝東幼稚園園舎整備用地として用地を取得したが、地域の就学前児童数および教育ニーズの減少が続くため、保護者の送迎用の駐車場として活用している。
旭森幼稚園	旭森	東沼波町 493-2	市街化区域に立地している。	周辺の道路幅が狭い上に、住宅地に立地していることから、送迎時の交通マナーの遵守を図る必要がある。
城北幼稚園	城北	松原町 3751-3	市街化区域の端に立地している。	令和 7 年(2025 年)に開催された第 79 回国民スポーツ大会および第 24 回全国障害者スポーツ大会の主会場と隣接している。令和 10 年(2028 年)から県スポーツ公園の整備が行われ、現在の城北幼稚園の敷地のうち、西側の一部をテニスコート用地として、令和 10 年度までに明渡しが必要な可能性がある。そのため、今後、大きく変わる周囲の環境に合わせた施設の更新を実施する必要がある。
佐和山幼稚園	佐和山	芹川町 481-1	市街化区域に立地している。	駐車場が他施設との共同利用であるため、登降園時など混雑時の事故等注意が必要である。
城陽幼稚園	城陽	日夏町 166	市街化調整区域に立地している。	地盤が緩く沈下しているため、扉が閉まりにくい箇所がある。
西保育園	城西	長曽根町 8 - 21	旧市街地に立地し、湖岸道路に隣接している。	園敷地内駐車場および近隣で確保している駐車場は、湖岸道路からの出入りとなるため危険である。現時点では、近隣の業者・地主から駐車場用土地を借りて対応している。(40,000 円/月)
東保育園	佐和山	安清町 8-4	旧市街地に立地している。	近隣の業者・地主から駐車場用土地を借りて対応している(35,200 円/月)が、悪天候時や行事時に園前道路が駐車待ちの自動車で混雑することがあるため、送迎車による交通渋滞の緩和を図る必要がある。
ふたば保育園	河瀬	金剛寺町 101	市街化調整区域に立地している。	同一敷地内には介護施設が併設されており、送迎時における駐車場利用ルールの徹底が求められる。
平田こども園	平田	平田町 303-1	市街化区域に立地している。	住宅密集地に立地し、送迎時には交通量が増えるため、送迎車による交通渋滞の緩和と園児の交通事故防止を図る必要がある。

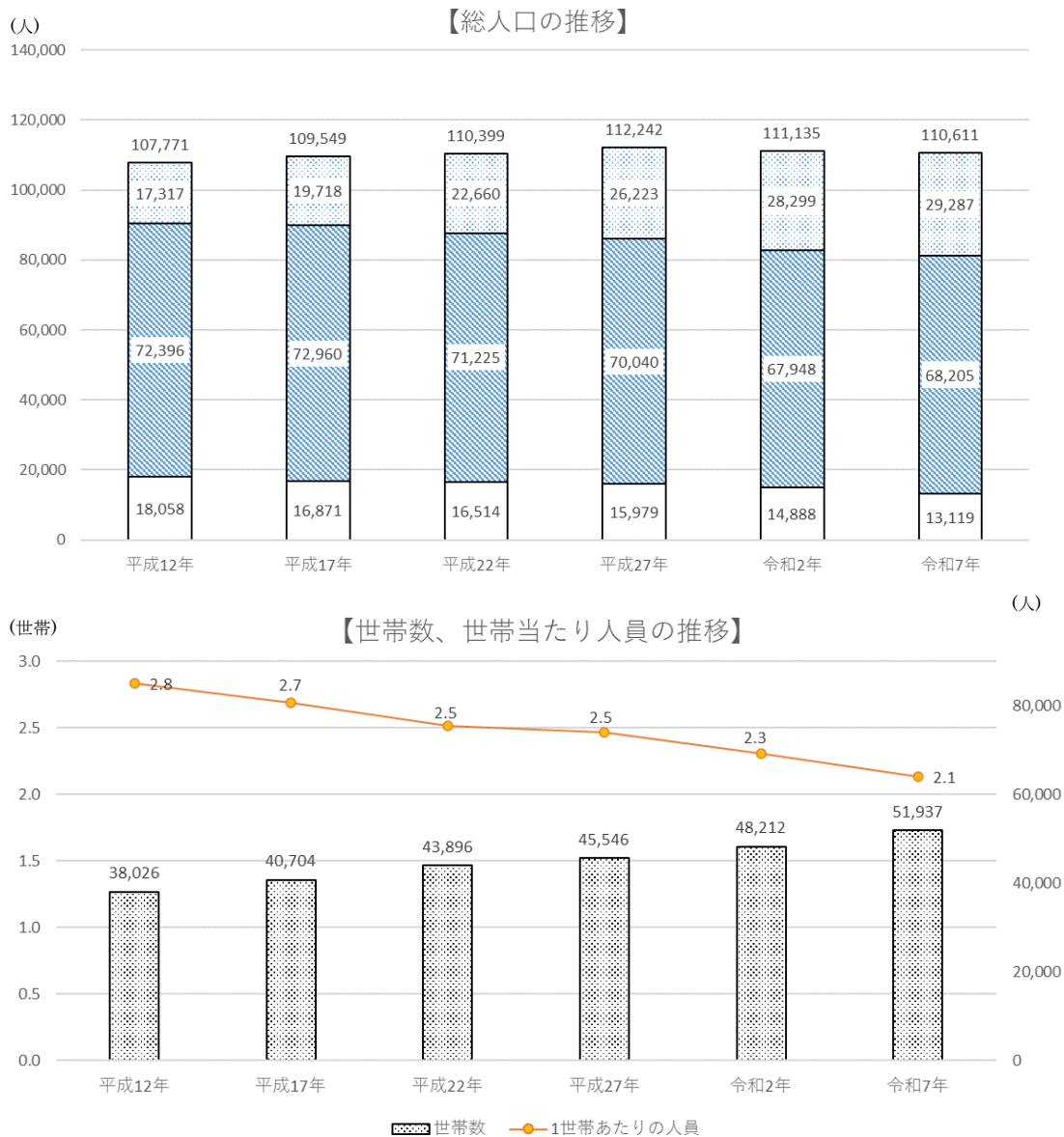
# 第 3 章

## 人口の動向と将来推計

### 1 人口の推移

本市の人口推移を見ると、総人口は平成 27 年までは一貫して増加傾向にありましたが、平成 27 年に 112,242 人でピークを迎えた後、微減傾向に転じており、令和 7 年時点では 110,611 人となっています。また、年齢 3 区分別人口構成の推移を見ると、15 歳未満人口は減少していますが、65 歳以上人口は増加しており、少子・高齢化が進んでいます。

世帯数の推移を見ると、平成 12 年以降増加しており、令和 7 年では 51,937 世帯となっています。また、1 世帯あたりの人員は減少しており、令和 7 年では 2.1 人となっています。



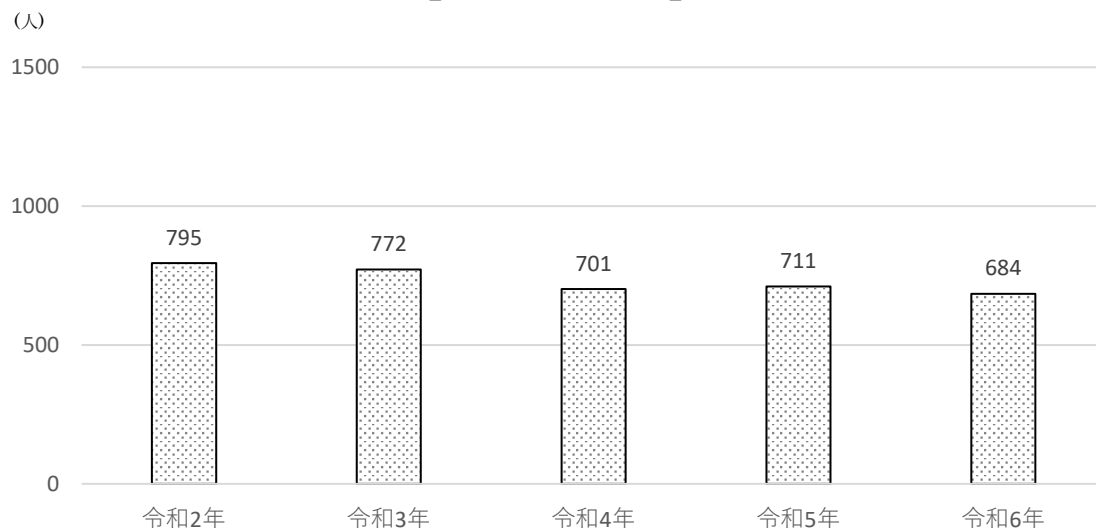
資料：国勢調査(平成 12 年～令和 2 年)

住民基本台帳(令和 7 年)

## 2 出生の動向

本市の出生数の推移を見ると、令和2年以降減少傾向で推移しており、令和6年は684人となっています。

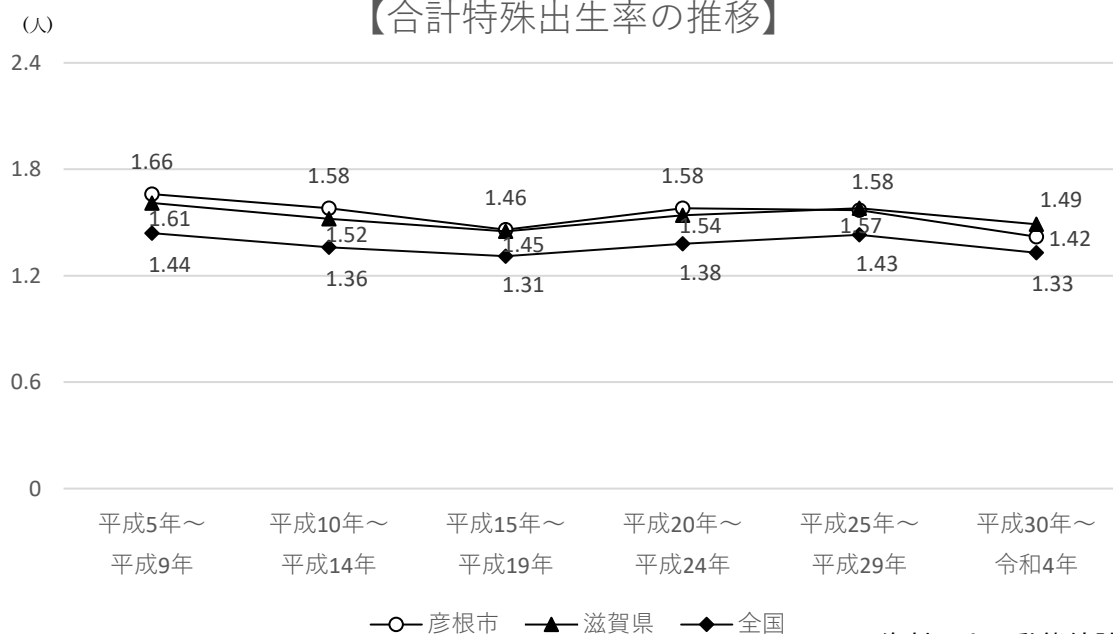
【出生数の推移】



資料：住民基本台帳（各年12月31日現在）

一人の女性が平均して一生の間に産む子どもの数を示す合計特殊出生率について、本市は滋賀県、全国をやや上回りながらも減少で推移していましたが、平成25～平成29年に滋賀県の平均を下回り、平成30年～令和4年には1.42となっています。平成30～令和4年は滋賀県1.49、全国1.33となっています。

【合計特殊出生率の推移】



資料：人口動態統計

### 3 就学前児童数の推移

本市の就学前児童数は年々減少しており、令和7年は4,364人で、令和3年から約1,000人減少しています。

【就学前児童数の推移（年齢別）】

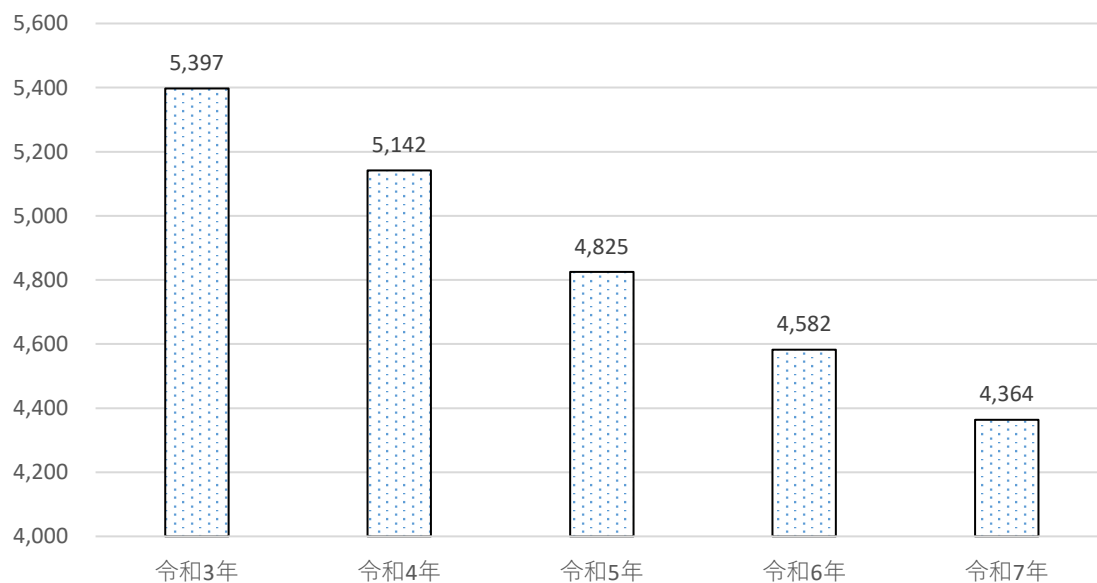
(単位：人)

年齢	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
0歳	760	776	692	668	678
1歳	866	745	773	700	674
2歳	905	860	733	765	694
3歳	923	879	851	728	746
4歳	974	916	869	853	724
5歳	969	966	907	868	848
合計	5,397	5,142	4,825	4,582	4,364

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(単位：人)

【就学前児童数の推移（合計）】



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

## 4 就学前児童数の将来推移

本市の就学前児童数の将来推計について、過去 7 年間の小学校区別の就学前児童数を基に推計した結果、次の表のとおり市全体で減少すると予測しています。令和 11 年では、市全体の就学前児童数は 4,200 人となり、令和 7 年と比較すると 164 人減少するものと予測しています。

なお、人口の変動要因である出生、死亡、移動等に関連する社会経済要因は多岐にわたることから、長期間の将来推計は不確実性が大きいため、当面の予測として令和 11 年までとしています。

### 【就学前児童数の将来推計（年齢別）】

（単位：人）

年齢	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年
0 歳	760	776	692	668	678	725	718	712	707
1 歳	866	745	773	700	674	690	729	722	715
2 歳	905	860	733	765	694	672	690	726	720
3 歳	923	879	851	728	746	687	665	685	717
4 歳	974	916	869	853	724	745	683	662	683
5 歳	969	966	907	868	848	723	741	681	658
合計	5,397	5,142	4,825	4,582	4,364	4,242	4,226	4,188	4,200

資料：令和 3 年から令和 7 年は、住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）。

令和 8 年から令和 11 年までは、平成 31 年から令和 7 年の住民基本台帳を基に、コーホート変化率法により推計。

## 【就学前児童数の将来推計（小学校区別）】

（単位：人）

中学 校区	小学 校区	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
鳥居本	鳥居本	64	59	52	44	44	48	41	40	45
西	城北	244	218	196	175	152	143	139	136	148
	城西	222	205	176	175	162	164	160	148	150
東	城東	225	224	231	236	206	209	203	198	193
	佐和山	558	512	470	454	435	416	419	432	439
	旭森	671	665	617	591	582	547	549	559	570
中央	金城	495	460	433	417	400	387	363	354	338
	平田	241	255	257	231	232	228	233	222	217
南	城南	626	607	589	566	561	549	559	565	562
	城陽	211	205	191	194	199	193	196	186	180
	若葉	110	118	117	117	109	106	105	98	94
	亀山	83	76	77	66	61	56	60	57	58
彦根	河瀬	547	537	497	481	444	429	430	424	432
	高宮	607	551	502	446	399	396	396	393	399
稲枝	稲枝東	276	261	255	233	233	228	232	232	234
	稲枝西	138	121	104	95	85	91	87	86	85
	稲枝北	79	68	61	61	60	52	54	58	56
合計		5,397	5,142	4,825	4,582	4,364	4,242	4,226	4,188	4,200

資料：令和3年～令和7年は住民基本台帳（各年4月1日現在）

令和8年から令和11年までは、平成31年から令和7年の住民基本台帳を基に、コーホート変化率法により推計。



## 1 幼稚園・こども園の現状

## (1) 施設の設置状況

幼稚園およびこども園の設置数は、令和 3 年度に ABC English プリスクールが地方裁量型認定こども園に移行、令和 4 年度に幼保連携型認定こども園 ひかりの森が開園、令和 5 年度に金城幼稚園が閉園、令和 6 年度に保育所型認定こども園 金城こども園が開園したことから、令和 7 年 4 月 1 日現在で公立 8 園、私立 5 園となっています。また、1 号認定の定員については、利用児童数の減少に伴い、公立幼稚園の利用定員を令和 4 年度と令和 7 年度に見直しを行い、令和 6 年度は金城幼稚園閉園により減少しています。

## 【幼稚園の設置状況】

(単位：園数(園)、定員(人))

区分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
幼稚園数	公立	8	8	8	7	7
	私立	1	1	1	1	1
こども園数	公立	1	1	1	1	1
	私立	2	3	3	4	4
合計		12	13	13	13	13
定員	公立	1,255	930	930	765	450
	私立	417	435	435	510	480
	合計	1,672	1,365	1,365	1,275	930

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度 4 月 1 日現在）

## (2) 年齢別の就園状況

園児数は、平成 24 年度の 1,433 人をピークに減少傾向に転じ、令和 7 年度には 587 人となっています。就園率※は、令和 5 年度までは 30%強で推移していましたが、その後は減少傾向にあります。令和 7 年度には、3 歳から 5 歳全ての年齢で 30%を割り、全体でも 25%となっています。

## 【園児数と就園率の推移】

(単位：上段(人)、下段(%))

年齢	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
3 歳	園児数	317	295	239	183	191
	就園率	34.3	33.6	28.1	25.1	25.6
4 歳	園児数	360	308	285	209	185
	就園率	37.0	33.6	32.8	24.5	25.6
5 歳	園児数	356	348	306	268	211
	就園率	36.7	36.0	33.7	30.9	24.9
合計	園児数	1,033	951	830	660	587
	就園率	36.0	34.4	31.6	26.9	25.3

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度 5 月 1 日現在）

※就園率：就学前児童数（3～5 歳）に対する入園児童数の割合をいいます。

### (3) 中学校区別・小学校区別の園児数の推移 ● ● ● ● ● ● ● ●

小学校区別の園児数は、全ての学区において令和３年度から減少しています。これは、就学前児童数の減少や保育所ニーズの高まりが影響していると考えられます。

#### 【学区別の園児数の推移】

(単位：人)

中学校区	小学校区	増減 7年度-3年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
鳥居本	鳥居本	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—
西	城北幼稚園（公立）	-28	54	49	43	30	26
	城北	-28	54	49	43	30	26
	彦根幼稚園（公立）	-58	92	72	54	43	34
	城西	-58	92	72	54	43	34
	合計	-86	146	121	97	73	60
東	聖ヨゼフこども園（私立）	-35	78	74	69	47	43
	城東	-35	78	74	69	47	43
	佐和山幼稚園（公立）	-43	86	77	59	48	43
	佐和山	-43	86	77	59	48	43
	旭森幼稚園（公立）	-36	100	95	72	67	64
	旭森	-36	100	95	72	67	64
	合計	-114	264	246	200	162	150
中央	金城幼稚園（公立）	-116	116	91	72	閉園	閉園
	金城こども園	47	—	—	—	55	47
	ABC English プリスクール	4	7	9	13	10	11
	金城	-65	123	100	85	65	58
	平田こども園	-22	108	107	106	91	86
	平田	-22	108	107	106	91	86
	合計	-87	231	207	191	156	144
南	城南	—	—	—	—	—	—
	城陽幼稚園（公立）	-21	76	70	67	49	55
	城陽	-21	76	70	67	49	55
	若葉	—	—	—	—	—	—
	亀山	—	—	—	—	—	—
彦根	みどり幼稚園（私立）	-93	190	174	156	126	97
	河瀬	-93	190	174	156	126	97
	高宮幼稚園（公立）	-34	76	79	65	52	42
	高宮	-34	76	79	65	52	42
	合計	-127	266	253	221	178	139
稲枝	稲枝東幼稚園（公立）	-26	50	46	42	26	24
	認定こども園 ひかりの森	15	—	8	12	16	15
	稲枝東	-11	50	54	54	42	39
	稲枝西	—	—	—	—	—	—
	稲枝北	—	—	—	—	—	—
	合計	-11	50	54	54	42	39
総合計		-446	1,033	951	830	660	587

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度５月１日現在）

※聖ヨゼフこども園、金城こども園、ABC English プリスクール、平田こども園、認定こども園 ひかりの森は１号認定児のみです。

#### (4) 中学校・小学校区別の就園状況 ●●●●●●●●

市全体の幼稚園の就園率は引き続き減少傾向にあります。小学校区別でも同様に年々就園率の減少が見られます。特に就園率が高いのは、平田、河瀬小学校区で40%以上となっています。これは、平田学区には規模の大きい公立こども園、河瀬学区には規模の大きい私立幼稚園があることが要因だと考えられます。

#### 【学区別の就園状況の推移】

(単位：就学前児童数、園児数(人)、就園率(%))

中学校区	小学校区	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		就学前児童数	園児数	就園率	就学前児童数	園児数	就園率	就学前児童数	園児数	就園率
鳥居本	鳥居本	31	—	—	28	—	—	27	—	—
	合計	31	—	—	28	—	—	27	—	—
西	城北	116	43	37.1	100	30	30.0	90	26	28.9
	城西	101	54	53.5	95	43	45.3	99	34	34.3
	合計	217	97	44.7	195	73	37.4	189	60	31.7
東	城東	118	69	58.5	128	47	36.7	107	43	40.2
	佐和山	261	59	22.6	244	48	19.7	224	43	19.2
	旭森	339	72	21.2	323	67	20.7	305	64	21.0
	合計	718	200	27.9	695	162	23.3	636	150	23.6
中央	金城	219	85	38.8	224	65	29.0	213	58	27.2
	平田	122	106	86.9	109	91	83.5	113	86	76.1
	合計	341	191	56.0	333	156	46.8	326	144	44.2
南	城南	331	—	—	298	—	—	283	—	—
	城陽	102	67	65.7	104	49	47.1	117	55	47.0
	若葉	58	—	—	63	—	—	64	—	—
	亀山	48	—	—	32	—	—	34	—	—
	合計	539	67	12.4	497	49	9.9	498	55	11.0
彦根	河瀬	266	156	58.6	243	126	51.9	231	97	42.0
	高宮	267	65	24.3	232	52	22.4	211	42	19.9
	合計	533	221	41.5	475	178	37.5	442	139	31.4
稲枝	稲枝東	147	54	36.7	133	42	31.6	124	39	31.5
	稲枝西	61	—	—	57	—	—	47	—	—
	稲枝北	40	—	—	36	—	—	29	—	—
	合計	248	54	21.8	226	42	18.6	200	39	19.5
総合計		2,627	830	31.6	2,449	660	26.9	2,318	587	25.3

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度5月1日現在）

※就学前児童数は3～5歳児の人数です。

## 2 保育所・こども園の現状

### (1) 施設の設置状況 ●●●●●●●●

保育所およびこども園の設置数は、令和3年度に(学)滋賀カトリック学園 聖ヨゼフ幼稚園が幼保連携型認定こども園 聖ヨゼフこども園へ移行、令和4年度にウェルネス保育園彦根、認定こども園ひかりの森が開園、彦根かんがる一保育園が地域型保育事業所から保育所へ移行、令和5年度にアイグラン保育園南彦根が開園、令和6年度に市立金城幼稚園が閉園し、金城こども園が開園され、令和7年4月1日現在で公立4園、私立35園の計39園となっています。また、2・3号認定の定員は、ニーズの増加に伴い、令和3年度までは一貫して増加していましたが、少子化の影響により令和7年度の定員は初めて前年度比で減少しています。

#### 【保育所の設置状況】

(単位：園数(園)、定員(人))

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
保育所数	公立	3	3	3	3	3
	私立	23	25	26	26	26
こども園数	公立	1	1	1	1	1
	私立	2	3	3	4	4
地域型保育事業所数	私立	6	5	5	5	5
合計		35	37	38	39	39
定員	公立	440	430	430	460	460
	私立	2,319	2,451	2,486	2,495	2,479
	合計	2,759	2,881	2,916	2,955	2,939

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度4月1日現在）

## (2) 年齢別の就園状況 ● ● ● ● ● ● ● ●

園児数は少子化により減少傾向にあり、令和 7 年度は 2,701 人となっています。しかし、こども数は減っているものの保育へのニーズは依然高いことから、就園率は今も増加傾向にあり令和 3 年度と比較して、10.5 ポイント増加しています。

### 【園児数と就園率の推移】

(単位：上段(人)、下段(%))

年齢	区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 歳	園児数	140	138	114	111	114
	就園率	18.4	17.8	16.5	16.6	16.8
1 歳	園児数	378	377	397	392	416
	就園率	43.6	50.6	51.4	56.0	61.7
2 歳	園児数	480	487	437	489	470
	就園率	53.0	56.6	59.6	63.9	67.7
3 歳	園児数	565	558	578	524	541
	就園率	61.2	63.5	67.9	72.0	72.5
4 歳	園児数	601	594	564	625	530
	就園率	61.7	64.8	64.9	73.3	73.2
5 歳	園児数	610	611	594	589	630
	就園率	63.0	63.3	65.5	67.9	74.3
合計	園児数	2,774	2,765	2,684	2,730	2,701
	就園率	51.4	53.8	55.6	59.6	61.9

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度 4 月 1 日現在）

※他市町からの広域入所児童を含みません。

※就園率：就学前児童数（0～5 歳）に対する入所児童数の割合をいいます。

### (3) 中学校区・小学校区別の園児数の推移 ●●●●●●●●

小学校区別の園児数は、令和3年度から令和7年度までの5年間で、規模の大きい保育所や認定こども園が開園した金城、城南、稲枝東学区で園児数が増えています。就学前児童数は令和3年度から令和7年度にかけて1,032人（約19%）減少していますが、保育園の園児数は83人（約3%）の減少に留まっており、保育所のニーズが高まっていることが分かります。

#### 【学区別の園児数の推移】

（単位：人）

中学校区	小学校区	増減 7年度-3年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
鳥居本	鳥居本保育園（私立）	-21	58	51	54	48	37
	鳥居本	-21	58	51	54	48	37
	合計	-21	58	51	54	48	37
西	城北	-	-	-	-	-	-
	西保育園（公立）	-14	104	98	93	87	90
	ノゾミ保育園（私立）	-22	94	95	89	86	72
	彦根乳児保育所（私立）	-25	82	72	63	55	57
	城西	-61	280	265	245	228	219
	合計	-61	280	265	245	228	219
東	るんびに一保育園（私立）	-19	104	100	90	87	85
	聖ヨゼフこども園（私立）	13	65	66	65	76	78
	城東	-6	169	166	155	163	163
	東保育園（公立）	-14	115	109	106	102	101
	ひこねさくら保育園（私立）	-14	105	96	99	104	91
	ほほえみ園（私立）	-3	16	17	16	12	13
	ウェルネス保育園彦根（私立）	14	-	24	28	24	14
	佐和山	-17	236	246	249	242	219
	旭森保育園（私立）	-5	149	148	150	148	144
	旭森乳児保育園（私立）	-7	42	35	33	40	35
	こだまそよかぜ保育園（私立）	-16	94	96	90	80	78
	にこにこおひさま園（私立）	-5	17	14	7	4	12
	旭森	-33	302	293	280	272	269
	合計	-56	707	705	684	677	651
中央	レイモンド大藪保育園（私立）	1	90	91	91	87	91
	ABC English プリスクール（私立）	-6	46	45	42	41	40
	金城こども園（私立）	99	-	-	-	82	99
	金城	94	136	136	133	210	230
	平田こども園（公立）	3	90	84	79	98	93
	平田	3	90	84	79	98	93
	合計	97	226	304	212	308	323

中学校区	小学校区	増減 3年度-7年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
南	城南保育園（私立）	-54	199	204	182	149	145
	森の子保育園（私立）	8	118	128	124	117	126
	ほいくえんももの家だいち（私立）	-23	100	91	86	88	77
	彦根かんがる一保育園（私立）	36	21	42	58	55	57
	かるがも保育所（私立）	-6	26	21	18	20	20
	アイグラン保育園南彦根（私立）	66	-	-	39	58	66
	城南	27	464	486	507	487	491
	日夏保育園（私立）	-10	76	76	71	70	66
	花田保育園（私立）	4	56	54	49	62	60
	多景保育園（私立）	-13	65	61	53	52	52
	どんぐりけんだいまえ保育園（私立）	-2	55	54	48	51	53
	城陽	-21	252	245	221	235	231
	若葉	-	-	-	-	-	-
	亀山保育園（私立）	-11	69	65	63	60	58
	亀山	-11	69	65	63	60	58
	合計	-5	785	796	791	782	780
彦根	ふたば保育園（公立）	-3	120	121	116	115	117
	しあわせ保育園（私立）	-7	103	101	99	97	96
	どんぐり保育園（私立）	-9	91	86	81	77	82
	河瀬	-19	314	308	296	289	295
	めぐみ保育園（私立）	-5	88	88	89	88	83
	つぼみ保育園（私立）	0	18	15	17	13	18
	高宮	-5	106	103	106	101	101
	合計	-24	420	411	402	390	396
稲枝	みづほ保育園（私立）	-27	120	110	101	94	93
	認定こども園ひかりの森（私立）	76	-	46	63	70	76
	稲枝東	49	120	156	164	164	169
	稲枝ふたば保育園（私立）	-30	93	84	73	73	63
	パレット（私立）	-7	19	14	12	11	12
	稲枝西	-25	112	98	85	84	75
	ことぶき保育園（私立）	-25	66	63	47	49	41
	稲枝北	-25	66	63	47	49	41
	合計	-13	298	317	296	297	285
総合計		-83	2,774	2,765	2,684	2,730	2,691

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度4月1日現在）

※平田こども園、聖ヨゼフこども園、ABC English プリスクール、

認定こども園 ひかりの森、金城こども園は2・3号認定児のみです。

※ほほえみ園、にこにこおひさま園、かるがも保育所、つぼみ保育園、パレットは地域型保育事業所です。

※彦根かんがる一保育園は令和3年度は地域型保育事業所、令和4年度以降は保育所です。

※かるがも保育所は地域枠・従業員枠の児童数です。

#### (4) 中学校区・小学校区別の就園状況 ●●●●●●●●

小学校区別の就園率は、令和５年度と令和７年度を比較すると金城学区で約 25 ポイント以上増加し、鳥居本学区で約 20 ポイント以上減少しています。

また、令和５年度の就園率が 100%を超えている小学校区は城西、城陽で、学区外から通園している状況が考えられます。一方、高宮小学校区が約 25%と低くなっているのは、学区内に保育所が不足していることによるものと考えられます。

#### 【学区別の就園状況の推移】

(単位：就学前児童数、園児数(人)、就園率(%))

中学校区	小学校区	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
		就学前児童数	園児数	就園率	就学前児童数	園児数	就園率	就学前児童数	園児数	就園率
鳥居本	鳥居本	52	54	103.8	44	48	109.1	44	37	84.1
	合計	52	54	103.8	44	48	109.1	44	37	84.1
西	城北	196	－	－	175	－	－	152	－	－
	城西	176	245	139.2	175	228	130.3	162	219	135.2
	合計	372	245	65.9	350	228	65.1	314	219	69.7
東	城東	231	155	67.1	236	163	69.1	206	163	79.1
	佐和山	470	249	53.0	454	242	53.3	435	219	50.3
	旭森	617	280	45.4	591	272	46.0	582	269	46.2
	合計	1,318	684	51.9	1,281	677	52.8	1,223	651	53.2
中央	金城	433	133	30.7	417	210	50.4	400	230	57.5
	平田	257	79	30.7	231	98	42.4	232	93	40.1
	合計	690	212	30.7	648	308	47.5	632	323	51.1
南	城南	589	507	86.1	566	487	86.0	651	491	87.5
	城陽	191	221	115.7	194	235	121.1	199	231	116.5
	若葉	117	－	－	117	－	－	109	－	－
	亀山	77	63	81.8	66	60	90.9	61	58	95.1
	合計	974	791	81.2	943	782	82.9	930	780	83.9
彦根	河瀬	497	296	59.6	481	289	60.1	444	295	66.4
	高宮	502	106	21.1	448	101	22.6	399	101	25.3
	合計	999	402	40.2	927	390	42.1	843	396	47.0
稲枝	稲枝東	255	164	64.3	233	164	70.4	233	169	72.5
	稲枝西	104	85	81.7	95	84	88.4	85	75	88.2
	稲枝北	61	47	77.0	61	49	80.3	60	41	68.3
	合計	420	296	70.5	389	297	76.3	378	285	75.4
総合計		4,825	2,684	55.6	4,582	2,730	59.6	4,364	2,691	61.7

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）（各年度４月１日現在）

※就学前児童数は０歳児～５歳児の人数です。



## (5) 待機児童数の状況 ●●●●●●●●

国の保育所等利用待機児童数調査要領(以下「国要領」という。)に基づき算出している待機児童数は、令和3年に9人が待機児童となっていましたが、以降1人のみの待機児童が発生し、令和7年4月1日は0人となりました。これは、少子化および待機児童解消のために保育施設の開設を行ってきたからだと思います。

### 【待機児童数の推移】

(単位：人)

年齢	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
0歳	0	0	1	1	0
1歳	0	0	0	0	0
2歳	0	1	0	0	0
3歳	9	0	0	0	0
4歳以上	0	0	0	0	0
合計	9	1	1	1	0

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）

### 【待機児童数から除かれる者の推移】

(単位：人)

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
113	87	80	45	38

資料：幼稚園・保育所関係統計資料（彦根市幼児課）

※待機児童数から除かれる者については、①求職活動中のうち、求職活動を休止している者、②特定の保育園等を希望している者、③育児休業中の者になります。

### 3 教育・保育ニーズ量の将来推計

令和5年度～令和7年度の学区別・年齢別・認定別の申込率を「第3章 4 就学前児童数の将来推計」において算出した【就学前児童数の将来推計（小学校区別）】の数値（P13）に乗じることで、令和11年度の小学校区別の教育・保育ニーズ量の見込みを算出しました。

幼稚園のニーズは1号認定の546人となり、現在の幼稚園定員（930人）を大きく下回ることが見込まれ、保育所のニーズも2号認定と3号認定を合わせて2,359人となり、現在の保育所定員（2,939人）を下回ることが見込まれます。

【小学校区別の教育・保育ニーズ量の見込み（令和11年度）】

（単位：人）

学区		1号認定			2・3号認定					
中学校区	小学校区	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
鳥居本	鳥居本	3	1	2	2	4	4	7	9	5
西	城北	8	5	9	5	14	16	16	12	14
	城西	8	8	7	4	16	17	21	24	14
東	城東	5	7	7	4	22	23	27	26	16
	佐和山	24	22	22	11	40	46	50	45	39
	旭森	27	26	22	19	56	62	65	66	43
中央	金城	18	18	20	11	33	37	41	38	42
	平田	12	11	12	5	19	21	22	24	19
南	城南	22	24	21	13	50	59	70	66	45
	城陽	7	7	7	3	17	22	28	31	16
	若葉	5	5	3	2	8	10	12	13	7
	亀山	4	2	2	2	6	6	6	8	3
彦根	河瀬	18	9	14	15	45	48	51	42	29
	高宮	16	13	16	15	43	49	50	30	28
稲枝	稲枝東	12	12	12	5	21	26	29	37	24
	稲枝西	2	2	2	3	9	12	14	15	6
	稲枝北	2	2	1	2	6	8	7	8	3
合計		193	174	179	121	409	466	516	494	353
令和7年4月1日現在の定員		930			1,099			1,840		
過不足		384			103			477		

※ 1号認定：教育標準時間認定・満3歳以上 → 認定こども園、幼稚園

2号認定：保育認定（標準時間・短時間）・満3歳以上 → 認定こども園、保育所

3号認定：保育認定（標準時間・短時間）・満3歳未満 → 認定こども園、保育所、地域型保育事業所

## 1 現状と今後の基本的な考え方

公立幼稚園は、全ての園が築後 30 年以上を経過し、一部の施設では老朽化が顕著となっています。また、利用状況を見ますと、令和 7 年度に定員数を大幅に削減したものの、全ての園で定員割れが生じている状況であり、今後も少子化と保育ニーズの高まりから定員と園児数の乖離はより大きくなるものと思われます。

公立保育所は、3 園中 2 園が築後 30 年を経過しています。また、次に、市内保育所の利用状況を見ますと、これまでは保育所利用希望者の増加により待機児童が発生している状況でしたが、新設園の開園、少子化の影響により待機児童は年々減少しており、令和 7 年 4 月時点では初めて市全体での待機児童数が 0 人となりました。

このように、子育て世帯全体に占める保育ニーズは伸びていますが、少子化の影響により年々園児数が減少し、それに伴い定員も減少している状況において、学区内に保育所が無いことから、学区外の保育所に通わざるを得ない園児も多数いる状況です。

こうしたことから、これからの公立園では計画的に施設の長寿命化を進めつつ、地域の教育ニーズ・保育ニーズに対応することを前提として、施設の統廃合や近隣園との統合によるこども園への移行を進めていくものとします。

なお、本市の財政状況については、人口減少や少子高齢化の進行による税収の減少や社会保障関連経費等、過去の大型施設の建設にかかる市債の償還により、今後ますます厳しいものになることが予想されますことから、今後の施設の整備にあたっては、民設民営方式での整備とし、民間事業者の協力を最大限に活用する手法を採ります。

## 2 施設整備の形態

本計画では、施設整備の形態を次の①～②とし、老朽度合い、立地状況、整備用地の確保の可能性や各地域の需要と供給のバランスを踏まえて、各施設の整備形態を選定します。なお、認定こども園は、保護者の就労の有無等に関係なく教育・保育ニーズに対応する施設であることから、更新を行う場合は認定こども園への移行を第一に検討します。

- ① 既存の施設形態のまま園舎の整備を行う。  
(1 園→1 園)
- ② 既存の幼稚園と保育所を統合して、認定こども園に移行する。  
(2 園以上→1 園)

## 3 施設整備の進め方

施設整備の進め方については、本計画期間内においては、次のとおり考え方を整理します。

### (1) 施設配置の考え方 ●●●●●●●●

更新施設の配置については、基本的に現敷地内での整備が可能な場合は現敷地内に、現敷地内での配置が困難な場合は近隣の市有地に配置することとします。さらに、それが困難な場合は、近隣の保育所等との地理的なバランスを考慮しながら同一中学校区内への移転を検討します。

### (2) 定員規模の考え方 ●●●●●●●●

整備する場合の1号認定、2・3号認定の定員規模は、地域の需要と供給のバランスを考慮して設定します。

### (3) 優先度の考え方 ●●●●●●●●

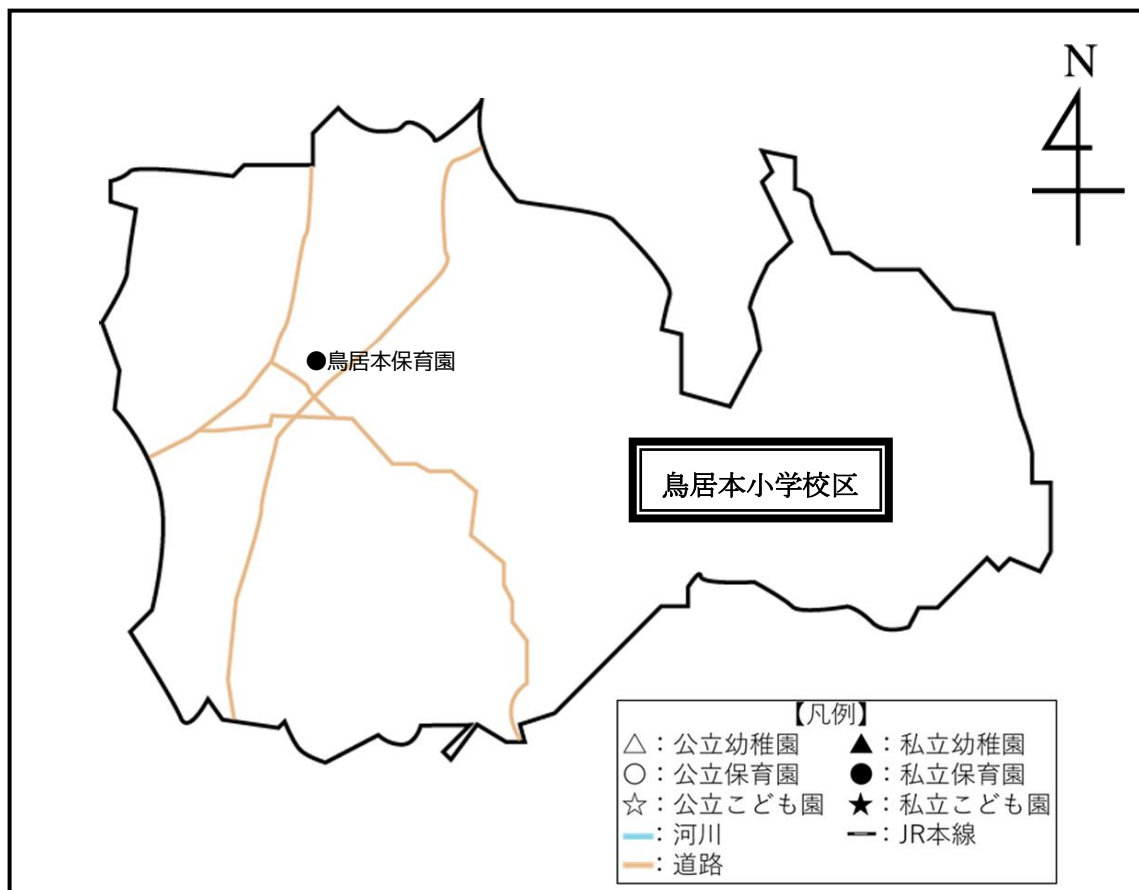
施設の老朽度合いと立地状況や整備用地確保の可能性を含め、総合的に整備の優先度を決めます。なお、老朽度合いの低い施設については、急激なニーズの減少がない限り、計画的に施設の長寿命化を進めていきます。

## 4 地区別の状況と具体的方向性

本計画の策定にあたっては、小学校区単位でこれまでの就学前児童数の推移、今後の推計、各施設における園児数、小学校区ごとにおける、他学区への通園・他学区からの通園状況を考慮して、公立幼稚園・保育所・こども園の今後の方向性を検討しました。

分析の範囲設定について、就学前児童を持つ保護者の多くは、将来の小学校への進学を考慮し、住所地の属する小学校区内または隣接する小学校区内の幼稚園・保育所・こども園を希望される傾向があるため、小学校区ごとに分析を行います。

## ①鳥居本中学校区



### (1) 鳥居本小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	2,289 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	1,137 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立保育所 1 園

#### ②【既存施設の定員】

【2・3号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
鳥居本保育園(私)	60	60	60	50	50
合計	60	60	60	50	50

#### ③【既存施設の園児数】

【2・3号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
鳥居本保育園(私)	58	51	54	48	37
合計	58	51	54	48	37

#### ④【就学前児童数の推移（各年 4 月 1 日現在）】

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 歳	13	8	3	7	8
1 歳	7	12	7	3	7
2 歳	12	6	11	6	2
3 歳	13	12	5	12	7
4 歳	9	13	13	4	13
5 歳	10	8	13	12	7
合計	64	59	52	44	44

⑤【就学前児童数の推計】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
0 歳	8	8	8	7	6
1 歳	7	8	7	7	6
2 歳	2	7	8	7	7
3 歳	7	2	8	9	8
4 歳	13	7	2	8	9
5 歳	7	16	8	2	9
合計	44	48	41	40	45

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和 7 年度)】

学区		他学区→鳥居本学区 (流入)		鳥居本学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定
鳥居本	鳥居本	-	21	-	21		
西	城北	-	5	5	-	-5	5
	城西	-	0	0	1	0	-1
東	城東	-	0	0	2	0	-2
	佐和山	-	5	3	1	-3	4
	旭森	-	4	0	1	0	3
中央	金城	-	1	0	2	0	-1
	平田	-	0	0	0	0	0
南	城南	-	0	-	0	0	0
	城陽	-	0	0	0	0	0
	若葉	-	0	-	-	0	0
	亀山	-	0	-	0	0	0
彦根	河瀬	-	1	0	0	0	1
	高宮	-	0	0	0	0	0
稲枝	稲枝東	-	0	0	0	0	0
	稲枝西	-	0	-	0	0	0
	稲枝北	-	0	-	0	0	0
合計		0	37	8	28	-8	9

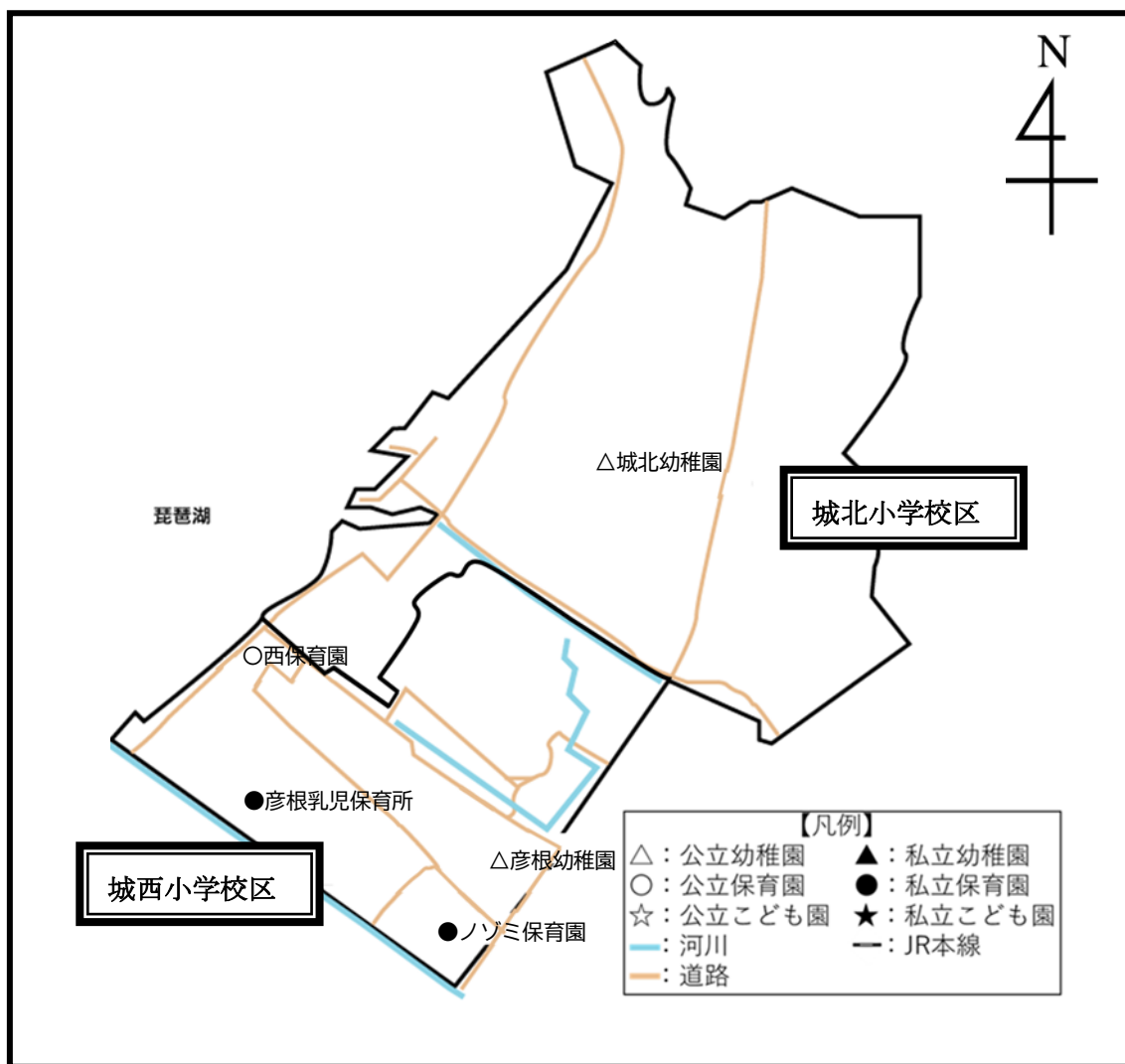
⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、今後も増加する可能性は低い。また、在園児数も年々減少していることから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要は低い。なお、これまでから 1 号認定のない当学区においては、1 号認定の園児は他学区への通園を余儀なくされているため、当学区の地理的状況から鑑みても学区内での通園の実現に向けて、既存の民間施設と何等かの方策を考案する必要がある。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## ②西中学校区



### (1) 城北小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	4,931 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	2,342 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1 園

#### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
城北幼稚園(公)	95	70	70	70	30
合計	95	70	70	70	30

#### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
城北幼稚園(公)	54	49	43	30	26
合計	54	49	43	30	26



④【就学前児童数の推移（各年４月１日現在）】

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
０歳	30	36	14	26	21
１歳	46	29	37	15	27
２歳	36	42	29	34	14
３歳	40	33	41	28	28
４歳	34	43	35	35	29
５歳	58	35	40	37	33
合計	244	218	196	175	152

⑤【就学前児童数の推計】

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
０歳	21	28	28	28	28
１歳	27	21	28	28	28
２歳	14	26	20	27	27
３歳	28	12	24	18	25
４歳	29	27	12	23	17
５歳	33	29	27	12	23
合計	152	143	139	136	148

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和７年度)】

学区		他学区→城北学区 (流入)		城北学区→他学区 (流出)		増減 (流入－流出)	
中学校	小学校	１号認定	２・３号認定	１号認定	２・３号認定	１号認定	２・３号認定
鳥居本	鳥居本	5	－	－	5	5	－5
西	城北	19	－	19	－		
	城西	2	－	3	40	－1	－40
東	城東	0	－	2	15	－2	－15
	佐和山	0	－	0	14	0	－14
	旭森	0	－	0	1	0	－1
中央	金城	0	－	0	5	0	－5
	平田	0	－	1	0	－1	0
南	城南	0	－	－	5	0	－5
	城陽	0	－	0	7	0	－7
	若葉	0	－	－	－	0	0
	亀山	0	－	－	0	0	0
彦根	河瀬	0	－	0	0	0	0
	高宮	0	－	0	0	0	0
稲枝	稲枝東	0	－	0	0	0	0
	稲枝西	0	－	－	1	0	－1
	稲枝北	0	－	－	0	0	0
合計		26	0	25	93	1	－93

⑦【分析】

これまで学区内には２・３号認定の園児を受け入れることのできる施設は無く、２・３号認定を希望する家庭は学区外へ通園をしていたが、令和８年度末をもって城北幼稚園を閉園し、令和９年度から新たに認定こども園が開園される予定となった。このことから、今後学区内のニーズは、１号から３号認定まで学区内で対応できることとなる。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

城北幼稚園を閉園し、民設民営で（仮称）城北こども園に移行する。

## (2) 城西小学校区

### ①【地区の状況】

人口	5,693 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	2,670 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1 園 公立保育所 1 園 私立保育所 2 園

### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
彦根幼稚園(公)	120	95	95	95	45
合計	120	95	95	95	45
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
西保育園(公)	110	110	110	110	110
ノゾミ保育園(私)	90	90	90	90	90
彦根乳児保育所(私)	85	85	80	70	70
合計	285	285	280	270	270

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
彦根幼稚園(公)	92	72	54	43	34
合計	92	72	54	43	34
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
西保育園(公)	104	98	93	87	90
ノゾミ保育園(私)	94	95	89	86	72
彦根乳児保育所(私)	82	72	63	55	57
合計	280	265	245	228	219

### ④【就学前児童数の推移（各年 4 月 1 日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0 歳	28	24	20	20	21
1 歳	26	31	28	25	19
2 歳	28	29	27	35	23
3 歳	40	30	29	30	37
4 歳	48	42	29	32	32
5 歳	52	49	43	33	30
合計	222	205	176	175	162

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0 歳	21	21	21	21	21
1 歳	19	25	24	24	24
2 歳	23	20	26	25	25
3 歳	37	25	22	28	27
4 歳	32	40	26	23	30
5 歳	30	33	41	27	23
合計	162	164	160	148	150

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→城西学区 (流入)		城西学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	1	－	0	0	1
西	城北	3	40	2	－	1	40
	城西	16	71	16	71		
東	城東	8	28	5	16	3	12
	佐和山	4	16	0	1	4	15
	旭森	0	8	0	1	0	7
中央	金城	1	27	1	4	0	23
	平田	2	7	1	4	1	3
南	城南	0	8	－	3	0	5
	城陽	0	6	0	5	0	1
	若葉	0	1	－	－	0	1
	亀山	0	0	－	0	0	0
彦根	河瀬	0	3	0	0	0	3
	高宮	0	3	0	0	0	3
稲枝	稲枝東	0	0	0	1	0	-1
	稲枝西	0	0	－	0	0	0
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		34	219	25	106	9	113

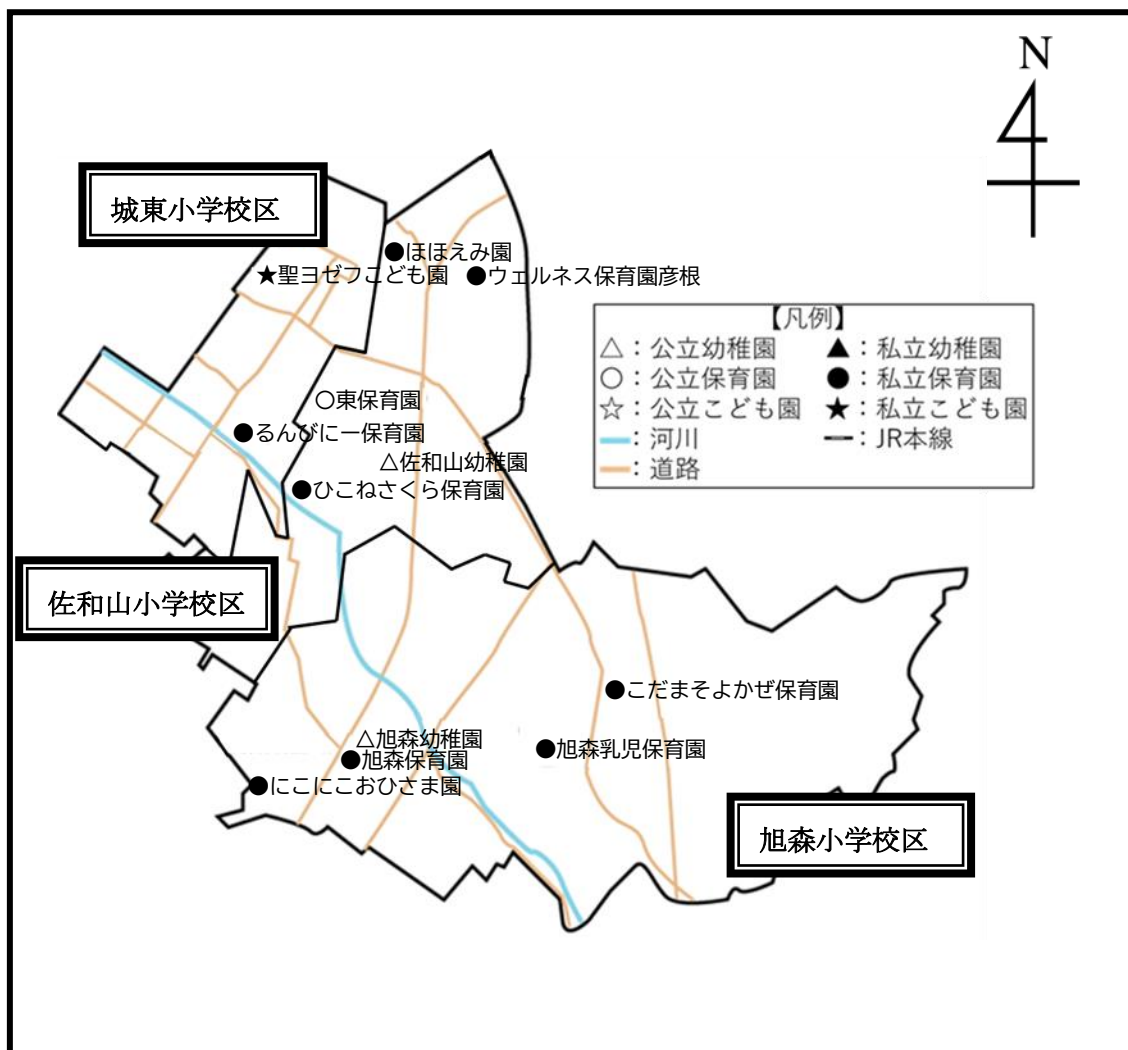
⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号から3号認定全ての園児数も同様に年々減少している。今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。また、現状では2・3号認定の園児を受け入れることのできる施設の無い城北学区からの流入が多いが、(仮称)城北こども園が開園した場合、短期間で2・3号認定児数が減少する可能性が高い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

西保育園は、(仮称)城北こども園の整備に伴い、大幅に園児数が減少する場合は、閉園を検討する。彦根幼稚園は、既存の施設形態のまま計画的に施設の長寿命化を進めていく。

### ③東中学校区



#### (1) 城東小学校区

##### ①【地区の状況】

人口	6,624 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	3,528 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立保育園 1 園 私立こども園 1 園

##### ②【既存施設の定員】

【1 号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
聖ヨゼフこども園（私）	90	90	90	90	60
合計	90	90	90	90	60
【2・3 号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
るんぴにー保育園（私）	90	90	90	90	90
聖ヨゼフこども園（私）	70	70	70	70	88
合計	160	160	160	160	178

③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
聖ヨゼフこども園（私）	78	74	69	47	43
合計	78	74	69	47	43
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
るんびにー保育園（私）	104	100	90	87	85
聖ヨゼフこども園（私）	65	66	65	76	78
合計	169	166	155	163	163

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	39	35	35	32	32
1歳	23	40	36	36	31
2歳	49	27	42	40	36
3歳	33	52	29	42	37
4歳	36	35	56	31	40
5歳	45	35	33	55	30
合計	225	224	231	236	206

⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	32	33	32	32	31
1歳	31	31	32	31	31
2歳	36	32	33	33	32
3歳	37	36	32	33	33
4歳	40	38	37	33	34
5歳	30	39	37	36	32
合計	206	209	203	198	193

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況（令和7年度）】

学区		他学区→城東学区 （流入）		城東学区→他学区 （流出）		増減 （流入－流出）	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	2	－	0	0	2
西	城北	2	15	0	－	2	15
	城西	5	16	8	28	－3	－12
東	城東	5	39	5	39		
	佐和山	13	45	0	42	13	3
	旭森	3	12	0	0	3	12
中央	金城	1	7	0	7	1	0
	平田	0	10	1	7	－1	3
南	城南	8	6	－	8	8	－2
	城陽	0	2	0	1	0	1
	若葉	1	3	－	－	1	3
	亀山	0	0	－	0	0	0
彦根	河瀬	2	2	2	6	0	－4
	高宮	3	4	0	1	3	3
稲枝	稲枝東	0	0	0	1	0	－1
	稲枝西	0	0	－	0	0	0
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		43	163	16	140	27	23

## ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号認定の園児数は減少、2・3号認定の園児数は横ばいであり、今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

## ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## (2) 佐和山小学校区

### ①【地区の状況】

人口	6,624人（令和7年4月1日現在）
世帯数	4,762世帯（令和7年4月1日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1園 公立保育園 1園 私立保育園 3園

### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
佐和山幼稚園(公)	165	95	95	95	55
合計	165	95	95	95	55
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東保育園(公)	120	120	120	120	120
ひこねさくら保育園(私)	90	90	90	90	90
ウェルネス保育園彦根(私)	—	44	44	44	30
ほほえみ園(私)	19	19	19	19	19
合計	229	273	273	273	259

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
佐和山幼稚園(公)	86	77	59	48	43
合計	86	77	59	48	43
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東保育園(公)	115	109	106	102	101
ひこねさくら保育園(私)	105	96	99	104	91
ウェルネス保育園彦根(私)	—	24	28	24	13
ほほえみ園(私)	16	17	16	12	14
合計	236	246	249	242	219

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	66	71	69	69	70
1歳	95	66	66	71	67
2歳	89	99	74	70	74
3歳	88	81	99	75	64
4歳	115	83	78	94	69
5歳	105	112	84	75	91
合計	558	512	470	454	435

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
0 歳	70	76	76	77	77
1 歳	67	70	75	75	76
2 歳	74	70	74	79	79
3 歳	64	71	67	71	76
4 歳	69	61	67	64	68
5 歳	91	68	60	66	63
合計	435	416	419	432	439

### ⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和 7 年度)】

学区		他学区→佐和山学区 (流入)		佐和山学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定
鳥居本	鳥居本	3	1	－	5	3	－4
西	城北	0	14	0	－	0	14
	城西	0	1	4	16	－4	－15
東	城東	0	42	13	45	－13	－3
	佐和山	38	116	38	116		
	旭森	2	22	0	22	2	0
中央	金城	0	3	2	3	－2	0
	平田	0	4	5	7	－5	－3
南	城南	0	1	－	17	0	－16
	城陽	0	1	0	1	0	0
	若葉	0	0	－	－	0	0
	亀山	0	0	－	0	0	0
彦根	河瀬	0	1	9	8	－9	－7
	高宮	0	12	0	0	0	12
稲枝	稲枝東	0	1	0	1	0	0
	稲枝西	0	0	－	0	0	0
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		43	219	71	241	－28	－22

### ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1 号から 3 号認定の園児数も同様に減少している。今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

### ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置せず、佐和山幼稚園・東保育園の計画的な長寿命化を進めていく。

## (3) 旭森小学校区

### ①【地区の状況】

人口	11,932 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	5,357 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1 園 私立保育園 4 園

②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
旭森幼稚園(公)	190	135	135	135	75
合計	190	135	135	135	75
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
旭森保育園(私)	150	150	150	150	150
旭森乳児保育園(私)	45	45	45	45	45
こだまそよかぜ保育園(私)	90	90	90	90	90
にこにこおひさま園(私)	19	19	19	19	19
合計	304	304	304	304	304

③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
旭森幼稚園(公)	100	95	72	67	64
合計	100	95	72	67	64
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
旭森保育園(私)	149	148	150	148	144
旭森乳児保育園(私)	42	35	33	40	35
こだまそよかぜ保育園(私)	94	96	90	80	78
にこにこおひさま園(私)	17	14	7	4	12
合計	302	293	280	272	269

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	103	96	92	93	102
1歳	121	100	88	86	88
2歳	112	127	98	89	87
3歳	109	107	127	92	86
4歳	124	107	107	126	92
5歳	102	128	105	105	127
合計	671	665	617	591	582

⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	102	101	101	102	101
1歳	88	99	98	98	99
2歳	87	88	99	98	98
3歳	86	84	86	96	95
4歳	92	84	82	84	94
5歳	127	91	83	81	83
合計	582	547	549	559	570



⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→旭森学区 (流入)		旭森学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	1	-	4	0	-3
西	城北	0	1	0	-	0	1
	城西	0	1	0	8	0	-7
東	城東	0	0	3	12	-3	-12
	佐和山	0	22	2	22	-2	0
	旭森	62	217	62	217		
中央	金城	0	1	4	8	-4	-7
	平田	0	1	5	3	-5	-2
南	城南	0	2	-	51	0	-49
	城陽	0	0	0	1	0	-1
	若葉	0	0	-	-	0	0
	亀山	0	0	-	3	0	-3
彦根	河瀬	0	1	5	5	-5	-4
	高宮	2	22	0	6	2	16
稲枝	稲枝東	0	0	2	1	-2	-1
	稲枝西	0	0	-	0	0	0
	稲枝北	0	0	-	0	0	0
合計		64	269	83	341	-19	-72

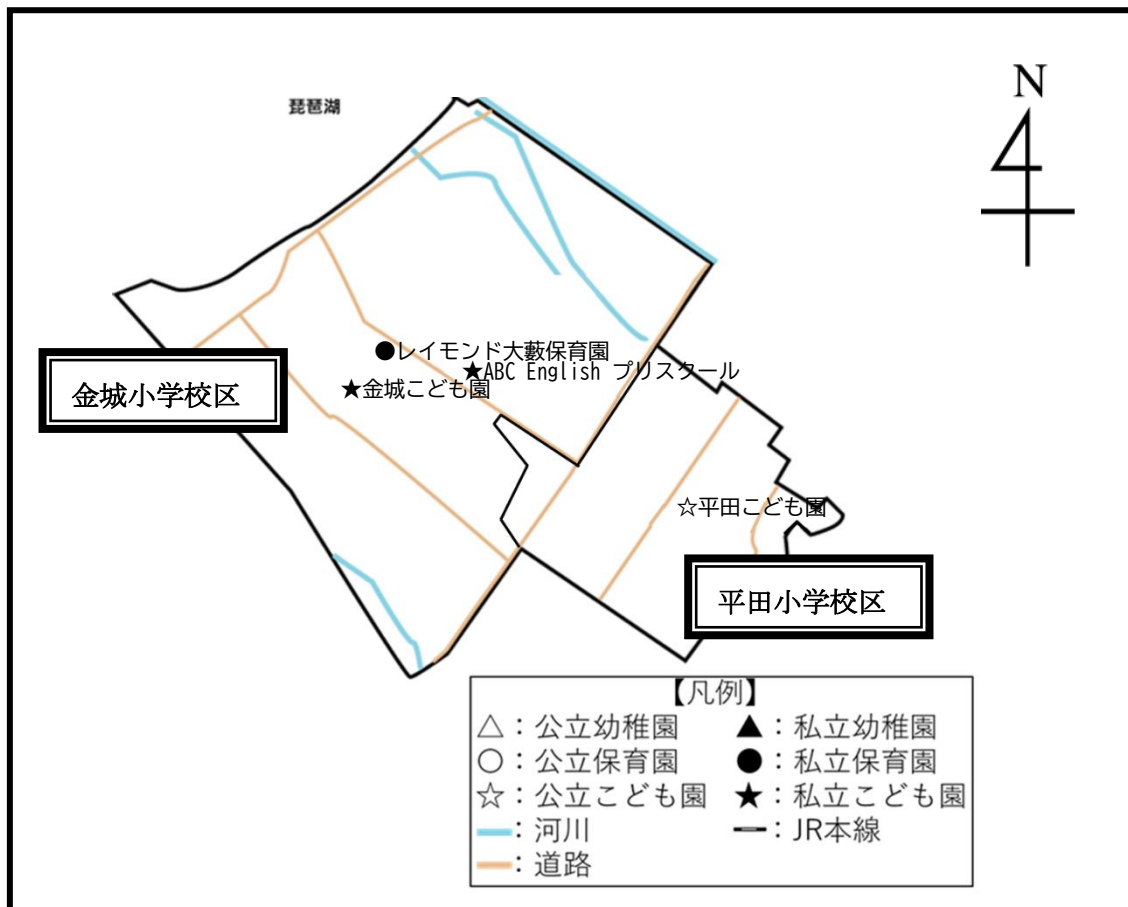
⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号から3号認定の園児数も同様に減少している。今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。なお、旭森幼稚園の園舎は、築47年が経過しており、現状の公立園の中では2番目に古く改修が必要である。改修の際には、隣接する民営の保育施設の改修に合わせ2園を統合した認定こども園への移行を検討する。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

旭森幼稚園を閉園し、民設民営で（仮称）旭森こども園に移行する。

#### ④中央中学校区



##### (1) 金城小学校区

###### ①【地区の状況】

人口	11,220 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	5,257 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立保育園 1 園 私立こども園 2 園

###### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【閉園】金城幼稚園(公)	190	135	135	—	—
金城こども園(私)	—	—	—	75	75
ABC English プリスクール(私)	12	15	15	15	15
合計	202	150	150	90	90
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
レイモンド大藪保育園(私)	90	90	90	90	90
金城こども園(私)	—	—	—	109	109
ABC English プリスクール(私)	48	45	45	45	45
合計	138	135	135	244	244

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【閉園】金城幼稚園(公)	116	91	72	—	—
金城こども園(私)	—	—	—	55	47
ABC English プリスクール(私)	7	9	13	10	11
合計	123	100	85	65	58
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
レイモンド大敷保育園(私)	90	91	91	87	91
金城こども園(私)	—	—	—	82	99
ABC English プリスクール(私)	46	45	42	41	40
合計	136	136	133	210	230

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	74	75	68	56	63
1歳	65	70	73	69	56
2歳	81	62	73	68	68
3歳	78	82	61	75	63
4歳	91	76	81	70	80
5歳	106	95	77	79	70
合計	495	460	433	417	400

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	63	62	62	60	58
1歳	56	60	59	59	57
2歳	68	54	57	57	57
3歳	63	67	53	56	56
4歳	80	64	68	54	56
5歳	70	80	64	68	54
合計	400	387	363	354	338

### ⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→金城学区 (流入)		金城学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	2	—	1	0	1
西	城北	0	5	0	—	0	5
	城西	1	4	1	27	0	-23
東	城東	0	7	1	7	-1	0
	佐和山	2	3	0	3	2	0
	旭森	4	8	0	1	4	7
中央	金城	35	134	35	134		
	平田	4	17	10	6	-6	11
南	城南	6	26	—	36	6	-10
	城陽	3	12	3	22	0	-10
	若葉	1	2	—	—	1	2
	亀山	0	0	—	1	0	-1
彦根	河瀬	1	3	4	5	-3	-2
	高宮	1	5	0	0	1	5
稲枝	稲枝東	0	2	0	4	0	-2
	稲枝西	0	0	—	1	0	-1
	稲枝北	0	0	—	0	0	0
合計		58	230	54	248	4	-18

## ⑦【分析】

1号認定の園児数は減少、2・3号認定の園児数は令和5年度に金城こども園を開園したことから、大幅に増加しているが学区内の就学前児童数は年々減少しており、今後大きく増加する可能性は低いことから、新たに追加で幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

## ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## (2) 平田小学校区

### ①【地区の状況】

人口	5,955人（令和7年4月1日現在）
世帯数	3,103世帯（令和7年4月1日現在）
就学前施設	公立こども園 1園

### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平田こども園(公)	140	140	140	90	90
合計	140	140	140	90	90
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平田こども園(公)	60	60	60	110	110
合計	60	60	60	110	110

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平田こども園(公)	108	107	106	91	86
合計	108	107	106	91	86
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平田こども園(公)	90	84	79	98	93
合計	90	84	79	98	93

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	38	50	49	31	39
1歳	36	37	51	46	38
2歳	40	39	35	45	42
3歳	45	43	34	30	44
4歳	42	43	43	37	30
5歳	40	43	45	42	39
合計	241	255	257	231	232

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	39	38	37	36	36
1歳	38	41	40	39	38
2歳	42	36	38	38	37
3歳	44	39	34	35	35
4歳	30	45	40	35	36
5歳	39	29	44	39	35
合計	232	228	233	222	217

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→平田学区 (流入)		平田学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	0	－	0	0	0
西	城北	1	0	0	－	1	0
	城西	1	4	2	7	－1	－3
東	城東	1	7	0	10	1	－3
	佐和山	5	7	0	4	5	3
	旭森	5	3	0	1	5	2
中央	金城	10	6	4	17	6	－11
	平田	25	38	25	38		
南	城南	33	16	－	36	33	－20
	城陽	1	3	0	7	1	－4
	若葉	0	1	－	－	0	1
	亀山	1	0	－	0	1	0
彦根	河瀬	0	2	3	4	－3	－2
	高宮	3	5	0	0	3	5
稲枝	稲枝東	0	1	0	0	0	1
	稲枝西	0	0	－	0	0	0
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		86	93	34	124	52	－31

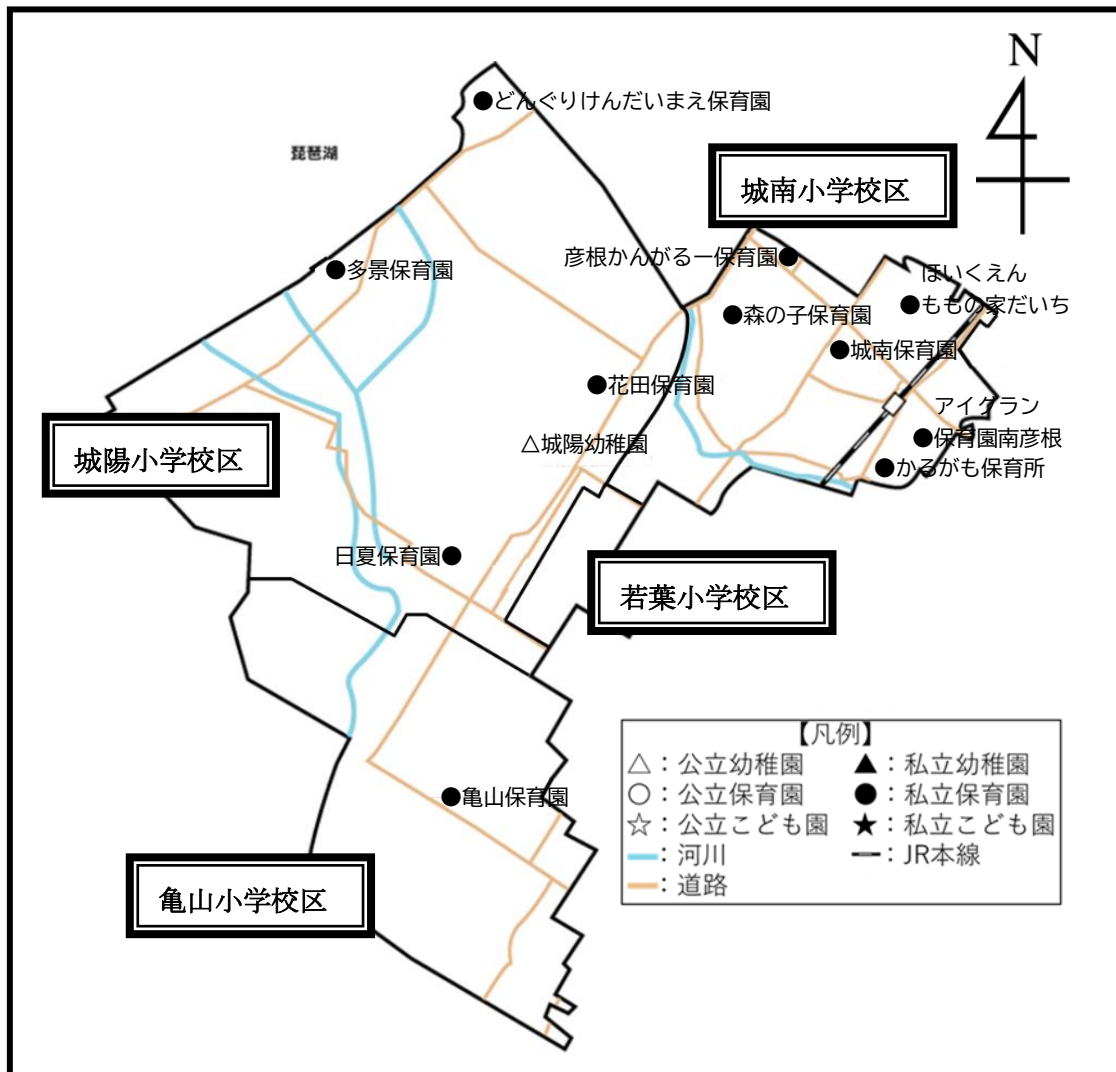
⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号認定の園児数は減少、2・3号認定の園児数は横ばいであり、今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置せず、平田こども園の計画的な長寿命化を進めていく。

## ⑤南中学校区



### (1) 城南小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	12,179 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	5,811 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立保育園 6 園

#### ②【既存施設の定員】

【2・3号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
城南保育園(私)	220	220	210	170	170
森の子保育園(私)	110	110	110	110	110
ほいくえんももの家だいち(私)	85	85	85	85	85
彦根かんがー保育園(私)	19	50	50	50	50
かるがも保育所(私)	35	35	35	35	35
アイグラン保育園 南彦根(私)	—	—	60	60	60
合計	469	500	550	550	550

③【既存施設の園児数】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
城南保育園(私)	199	204	182	149	145
森の子保育園(私)	118	128	124	117	126
ほいくえんももの家だいち(私)	100	91	86	88	77
彦根かんがるー保育園(私)	21	42	58	55	57
かるがも保育所(私)	26	21	18	20	20
アイグラン保育園 南彦根(私)	—	—	39	58	66
合計	464	486	507	487	491

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	85	95	82	88	91
1歳	112	86	96	87	91
2歳	114	108	80	93	96
3歳	116	105	111	84	91
4歳	98	112	102	110	83
5歳	101	101	118	104	109
合計	626	607	589	566	561

⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	91	93	93	93	93
1歳	91	95	96	96	96
2歳	96	91	95	96	96
3歳	91	96	90	94	95
4歳	83	90	95	89	93
5歳	109	84	90	97	89
合計	561	549	559	565	562

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→城南学区 (流入)		城南学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	—	0	—	0	0	0
西	城北	—	5	0	—	0	5
	城西	—	3	0	8	0	-5
東	城東	—	8	8	6	-8	2
	佐和山	—	17	0	1	0	16
	旭森	—	51	0	2	0	49
中央	金城	—	36	6	26	-6	10
	平田	—	36	33	16	-33	20
南	城南	—	238	—	238		
	城陽	—	11	9	18	-9	-7
	若葉	—	2	—	—	0	2
	亀山	—	3	—	1	0	2
彦根	河瀬	—	18	10	11	-10	7
	高宮	—	61	1	3	-1	58
稲枝	稲枝東	—	2	0	5	0	-3
	稲枝西	—	0	—	1	0	-1
	稲枝北	—	0	—	0	0	0
合計		0	491	67	336	-67	155

## ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少している。2・3号認定の園児数も微減傾向にあり、近年の保育施設の新設で十分対応できている。当学区に1号認定の受け皿はなく、1号認定の園児は平田学区に通園している園児が多い。平田こども園の1号認定の受入には余裕があるわけではないが、平田学区においては就学全児童数の減少が続いており、今後は平田こども園の1号認定の受け皿に余裕が生まれることが期待できる。このことから、新たに幼稚園・こども園を設置する必要性は薄い。

## ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## (2) 城陽小学校区

### ①【地区の状況】

人口	4,913人（令和7年4月1日現在）
世帯数	2,100世帯（令和7年4月1日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1園 私立保育園 4園

### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
城陽幼稚園(公)	95	95	95	95	60
合計	95	95	95	95	60
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日夏保育園(私)	90	90	80	80	70
花田保育園(私)	60	60	60	60	60
多景保育園(私)	60	60	60	60	60
どんぐりけんだいまえ保育園(私)	46	46	46	46	46
合計	256	256	246	246	236

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
城陽幼稚園(公)	76	70	67	49	55
合計	76	70	67	49	55
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日夏保育園(私)	76	76	71	70	66
花田保育園(私)	56	54	49	62	60
多景保育園(私)	65	61	53	52	52
どんぐりけんだいまえ保育園(私)	55	54	48	51	53
合計	252	245	221	235	231

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	25	33	26	19	25
1歳	31	24	37	33	24
2歳	25	33	26	38	33
3歳	38	27	36	31	41
4歳	45	42	26	43	32
5歳	47	46	40	30	44
合計	211	205	191	194	199



⑤【就学前児童数の推計】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
0 歳	25	24	24	23	23
1 歳	24	29	27	27	26
2 歳	33	26	31	29	29
3 歳	41	37	29	35	32
4 歳	32	44	39	31	38
5 歳	44	33	46	41	32
合計	199	193	196	186	180

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和 7 年度)】

学区		他学区→城陽学区 (流入)		城陽学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定
鳥居本	鳥居本	0	0	－	0	0	0
西	城北	0	7	0	－	0	7
	城西	0	5	0	6	0	－1
東	城東	0	1	0	2	0	－1
	佐和山	0	1	0	1	0	0
	旭森	0	1	0	0	0	1
中央	金城	3	22	3	12	0	10
	平田	0	7	1	3	－1	4
南	城南	9	18	－	11	9	7
	城陽	11	109	11	109		
	若葉	8	33	－	－	8	33
	亀山	3	2	－	4	3	－2
彦根	河瀬	20	18	3	0	17	18
	高宮	1	4	0	0	1	4
稲枝	稲枝東	0	1	0	2	0	－1
	稲枝西	0	2	－	1	0	1
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		55	231	18	151	37	80

⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1 号認定、2・3 号認定の園児数も同様に減少している。今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

なお、学区内の保育所 3 園については、いずれも園児数の減少が生じているため、民営の保育所 3 園の動向に注視しつつ、同様に園児数の減少している城陽幼稚園との統合を検討する。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

学区内には民営の保育所が 3 園あり、3 園の動向に注視しつつ、同様に園児数の減少している城陽幼稚園との統合を検討する。

### (3) 若葉小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	3,981 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	1,720 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	なし

#### ②【既存施設の定員】

なし

#### ③【既存施設の園児数】

なし

#### ④【就学前児童数の推移（各年 4 月 1 日現在）】

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 歳	15	19	19	14	14
1 歳	13	18	21	19	13
2 歳	22	15	19	21	18
3 歳	14	23	20	17	24
4 歳	26	16	24	21	18
5 歳	20	27	14	25	22
合計	110	118	117	117	109

#### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
0 歳	14	14	13	13	13
1 歳	13	15	15	14	14
2 歳	18	14	16	16	15
3 歳	24	20	15	18	17
4 歳	18	25	21	16	19
5 歳	22	18	25	21	16
合計	109	106	105	98	94

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→若葉学区 (流入)		若葉学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	-	-	-	0	0	0
西	城北	-	-	0	-	0	0
	城西	-	-	0	1	0	-1
東	城東	-	-	1	3	-1	-3
	佐和山	-	-	0	0	0	0
	旭森	-	-	0	0	0	0
中央	金城	-	-	1	2	-1	-2
	平田	-	-	0	1	0	-1
南	城南	-	-	-	2	0	-2
	城陽	-	-	8	33	-8	-33
	若葉	-	-	-	-		
	亀山	-	-	-	3	0	-3
彦根	河瀬	-	-	6	20	-6	-20
	高宮	-	-	0	0	0	0
稲枝	稲枝東	-	-	0	3	0	-3
	稲枝西	-	-	-	0	0	0
	稲枝北	-	-	-	0	0	0
合計		0	0	16	68	-16	-68

⑦【分析】

学区内に1号から3号認定の園児を受け入れることのできる施設が存在しない。学区在住者は主に城陽・河瀬学区に通園をしており、これまで通り両学区の園に通園が可能であるため、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

(4) 亀山小学校区

①【地区の状況】

人口	2,373人(令和7年4月1日現在)
世帯数	993世帯(令和7年4月1日現在)
就学前施設	私立保育園 1園

②【既存施設の定員】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
亀山保育園(私)	60	60	60	60	60
合計	60	60	60	60	60

③【既存施設の園児数】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
亀山保育園(私)	69	65	63	60	58
合計	69	65	63	60	58

④【就学前児童数の推移（各年４月１日現在）】

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
０歳	３	１３	９	１０	８
１歳	１４	４	１５	１０	１０
２歳	１１	１６	５	１４	９
３歳	２１	１０	１６	６	１３
４歳	１４	２０	１１	１５	６
５歳	２０	１３	２１	１１	１５
合計	８３	７６	７７	６６	６１

⑤【就学前児童数の推計】

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
０歳	８	８	８	８	８
１歳	１０	１０	１０	１０	１０
２歳	９	１０	１０	１０	１０
３歳	１３	９	１０	１０	１０
４歳	６	１３	９	１０	１０
５歳	１５	６	１３	９	１０
合計	６１	５６	６０	５７	５８

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和７年度)】

学区		他学区→亀山学区 (流入)		亀山学区→他学区 (流出)		増減 (流入－流出)	
中学校	小学校	１号認定	２・３号認定	１号認定	２・３号認定	１号認定	２・３号認定
鳥居本	鳥居本	－	０	－	０	０	０
西	城北	－	０	０	－	０	０
	城西	－	０	０	０	０	０
東	城東	－	０	０	０	０	０
	佐和山	－	０	０	０	０	０
	旭森	－	３	０	０	０	３
中央	金城	－	１	０	０	０	１
	平田	－	０	１	０	－１	０
南	城南	－	１	－	３	０	－２
	城陽	－	４	３	２	－３	２
	若葉	－	３	－	－	０	３
	亀山	－	２２	－	２２		
彦根	河瀬	－	１８	１１	４	－１１	１４
	高宮	－	２	０	０	０	２
稲枝	稲枝東	－	３	０	１	０	２
	稲枝西	－	１	－	０	０	１
	稲枝北	－	０	－	０	０	０
合計		０	５８	１５	３２	－１５	２６

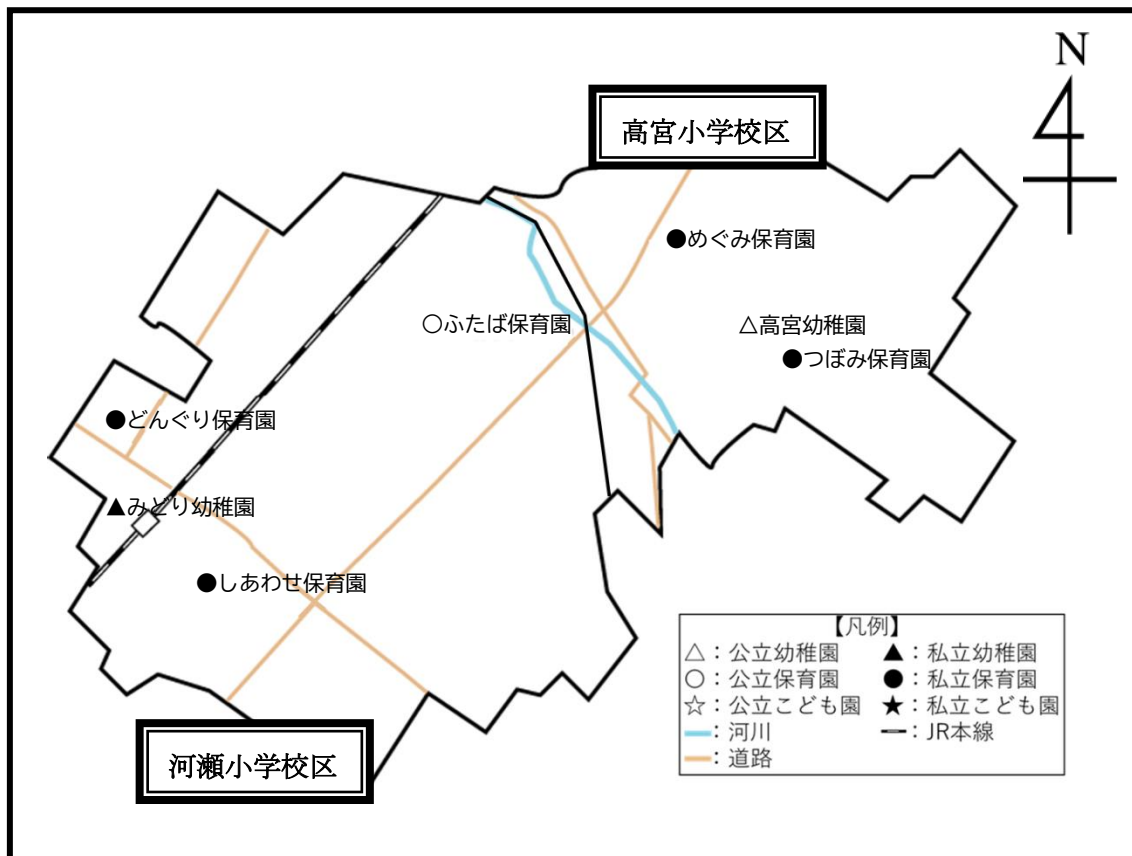
⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、２・３号認定の園児数も同様に減少している。１号認定の希望者は近隣での受入が可能であることから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## ⑥彦根中学校区



### (1) 河瀬小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	8,646 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	3,947 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立幼稚園 1 園 公立保育園 1 園 私立保育園 2 園

#### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
みどり幼稚園(私)	315	315	315	315	315
合計	315	315	315	315	315
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふたば保育園(公)	150	140	140	140	140
しあわせ保育園(私)	90	90	90	90	90
どんぐり保育園(私)	90	90	90	90	90
合計	330	330	330	330	330

③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
みどり幼稚園(私)	190	174	156	126	97
合計	190	174	156	126	97
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふたば保育園(公)	120	121	116	115	117
しあわせ保育園(私)	103	101	99	97	96
どんぐり保育園(私)	91	86	81	77	82
合計	314	308	296	289	295

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	86	87	73	81	66
1歳	100	80	81	73	81
2歳	85	100	77	84	66
3歳	98	79	89	72	76
4歳	90	102	78	92	68
5歳	88	89	99	79	87
合計	547	537	497	481	444

⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	66	82	80	80	79
1歳	81	64	79	77	77
2歳	66	78	62	76	75
3歳	76	62	73	58	71
4歳	68	75	61	72	58
5歳	87	68	75	61	72
合計	444	429	430	424	432

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→河瀬学区 (流入)		河瀬学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	0	-	1	0	-1
西	城北	0	0	0	-	0	0
	城西	0	0	0	3	0	-3
東	城東	2	6	2	2	0	4
	佐和山	9	8	0	1	9	7
	旭森	5	5	0	1	5	4
中央	金城	4	5	1	3	3	2
	平田	3	4	0	2	3	2
南	城南	10	11	-	18	10	-7
	城陽	3	0	20	18	-17	-18
	若葉	6	20	-	-	6	20
	亀山	11	4	-	18	11	-14
彦根	河瀬	31	196	31	196		
	高宮	8	33	0	7	8	26
稲枝	稲枝東	3	3	6	18	-3	-15
	稲枝西	0	0	-	0	0	0
	稲枝北	2	0	-	0	2	0
合計		97	295	60	288	37	7

## ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号から3号認定の園児数も同様に減少していることから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

## ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## (2) 高宮小学校区

### ①【地区の状況】

人口	8,162人（令和7年4月1日現在）
世帯数	3,962世帯（令和7年4月1日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1園 私立保育園 2園

### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高宮幼稚園(公)	165	95	95	95	45
合計	165	95	95	95	45
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
めぐみ保育園(私)	90	90	90	90	90
つぼみ保育園(私)	19	19	19	19	19
合計	109	109	109	109	109

### ③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
高宮幼稚園(公)	76	79	65	52	42
合計	76	79	65	52	42
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
めぐみ保育園(私)	88	88	89	88	83
つぼみ保育園(私)	18	15	17	13	18
合計	106	103	106	101	101

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	93	88	83	71	59
1歳	104	81	81	73	64
2歳	114	84	71	70	65
3歳	98	109	80	66	73
4歳	112	93	101	70	69
5歳	86	96	86	96	69
合計	607	551	502	446	399

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	59	84	84	83	84
1歳	64	55	79	79	79
2歳	65	58	50	71	70
3歳	73	63	56	48	69
4歳	69	70	61	54	46
5歳	69	66	66	58	51
合計	399	396	396	393	399

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→高宮学区 (流入)		高宮学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	0	－	0	0	0
西	城北	0	0	0	－	0	0
	城西	0	0	0	3	0	-3
東	城東	0	1	3	4	-3	-3
	佐和山	0	0	0	12	0	-12
	旭森	0	6	2	22	-2	-16
中央	金城	0	0	1	5	-1	-5
	平田	0	0	3	5	-3	-5
南	城南	1	3	－	61	1	-58
	城陽	0	0	1	4	-1	-4
	若葉	0	0	－	－	0	0
	亀山	0	0	－	2	0	-2
彦根	河瀬	0	7	8	33	-8	-26
	高宮	41	84	41	84		
稲枝	稲枝東	0	0	0	8	0	-8
	稲枝西	0	0	－	0	0	0
	稲枝北	0	0	－	0	0	0
合計		42	101	59	243	-17	-142

⑦【分析】

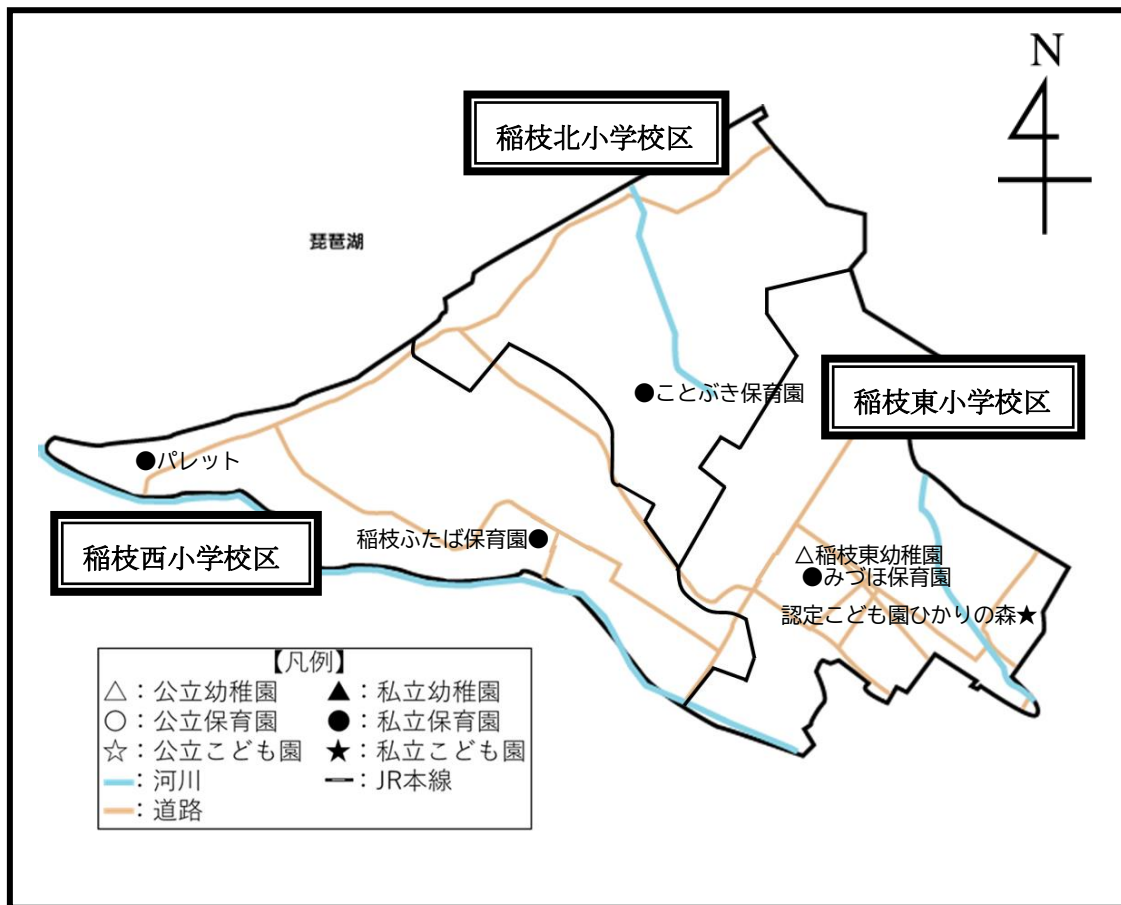
学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号認定は同様に減少、2・3号認定の園児数は横ばいで推移している。現状では多くの2・3号認定児が学区外へ通園をしているが、今後も就学前児童数が減少する見込みであること、高宮学区と隣接する城南学区の2学区で十分受け入れ可能であることから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置せず、高宮幼稚園は既存形態のまま計画的に施設の長寿命化を進めていく。ただし、大幅に園児数が減少する場合は閉園を検討する。



## ⑦稲枝中学校区



### (1) 稲枝東小学校区

#### ①【地区の状況】

人口	6,678 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	2,894 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	公立幼稚園 1 園 私立保育園 1 園 私立こども園 1 園

#### ②【既存施設の定員】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
稲枝東幼稚園(公)	95	70	70	70	30
認定こども園 ひかりの森(私)	-	15	15	15	15
合計	95	85	85	85	85
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
みづほ保育園(公)	120	120	120	110	110
認定こども園 ひかりの森(私)	-	60	60	60	60
合計	120	180	180	170	170

③【既存施設の園児数】

【1号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
稲枝東幼稚園(公)	50	46	42	26	24
ひかりの森(私)	-	8	12	16	15
合計	50	54	54	42	39
【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
みづほ保育園(公)	120	110	101	94	93
ひかりの森(私)	-	46	63	70	76
合計	120	156	164	164	169

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	33	30	31	32	38
1歳	45	38	37	30	37
2歳	44	43	40	38	34
3歳	59	46	44	41	40
4歳	49	56	47	45	37
5歳	46	48	56	47	47
合計	276	261	255	233	233

⑤【就学前児童数の推計】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	38	32	31	30	30
1歳	37	43	36	35	34
2歳	34	39	45	38	37
3歳	40	37	43	49	41
4歳	37	40	37	43	49
5歳	47	37	40	37	43
合計	233	228	232	232	234

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→稲枝東学区 (流入)		稲枝東学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	0	0	-	0	0	0
西	城北	0	0	0	-	0	0
	城西	0	1	0	0	0	1
東	城東	0	1	0	0	0	1
	佐和山	0	1	0	1	0	0
	旭森	2	1	0	0	2	1
中央	金城	0	4	0	2	0	2
	平田	0	0	0	1	0	-1
南	城南	0	5	-	2	0	3
	城陽	0	2	0	1	0	1
	若葉	0	3	-	-	0	3
	亀山	0	1	-	3	0	-2
彦根	河瀬	6	18	3	3	3	15
	高宮	0	8	0	0	0	8
稲枝	稲枝東	26	121	26	121		
	稲枝西	3	1	-	8	3	-7
	稲枝北	2	2	-	6	2	-4
合計		39	169	29	148	10	21

## ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、1号認定の園児数も同様に減少、2・3号認定の園児数は令和4年度に新しい園が開園して増加しているが、他学区（河瀬・高宮）からの流入によるものが要因となっている。流入元となっている河瀬・高宮学区では、就学前児童数が大きく増加する可能性は低く、需要が増える可能性は低いいため、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

また、稲枝東幼稚園の園舎は、築48年が経過しており、現状の公立園の中では最も古い。当学区内では1号認定の需要が減少していることから、令和9年度末をもって閉園する。

## ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

稲枝東幼稚園は令和9年度末をもって閉園する。

また、地域の実情を踏まえ、稲枝地区（稲枝東学区、稲枝西学区、稲枝北学区）所在の保育園には特別利用の枠で1号認定の児童を受け入れることを可能にすることを進める。

## （2）稲枝西小学校区

### ①【地区の状況】

人口	2,738人（令和7年4月1日現在）
世帯数	1,309世帯（令和7年4月1日現在）
就学前施設	私立保育園 2園

### ②【既存施設の定員】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
稲枝ふたば保育園(私)	90	90	90	80	70
パレット(私)	19	19	19	19	19
合計	109	109	109	99	89

### ③【既存施設の園児数】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
稲枝ふたば保育園(私)	93	84	73	73	63
パレット(私)	19	14	12	11	12
合計	112	98	85	84	75

### ④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	21	12	11	10	13
1歳	11	21	13	14	11
2歳	28	11	19	14	14
3歳	24	28	12	20	16
4歳	26	24	26	11	20
5歳	28	25	23	26	11
合計	138	121	104	95	85

### ⑤【就学前児童数の推計】

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
0 歳	13	13	12	11	11
1 歳	11	15	15	14	12
2 歳	14	12	16	16	15
3 歳	16	15	13	17	17
4 歳	20	16	15	13	17
5 歳	11	20	16	15	13
合計	85	91	87	86	85

### ⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和 7 年度)】

学区		他学区→稲枝西学区 (流入)		稲枝西学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定	1 号認定	2・3 号認定
鳥居本	鳥居本	-	0	-	0	0	0
西	城北	-	1	0	-	0	1
	城西	-	0	0	0	0	0
東	城東	-	0	0	0	0	0
	佐和山	-	0	0	0	0	0
	旭森	-	0	0	0	0	0
中央	金城	-	1	0	0	0	1
	平田	-	0	0	0	0	0
南	城南	-	1	-	0	0	1
	城陽	-	1	0	2	0	-1
	若葉	-	0	-	-	0	0
	亀山	-	0	-	1	0	-1
彦根	河瀬	-	0	0	0	0	0
	高宮	-	0	0	0	0	0
稲枝	稲枝東	-	8	3	1	-3	7
	稲枝西	-	61	-	61		
	稲枝北	-	2	-	0	0	2
合計		0	75	3	65	-3	10

### ⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、2・3 号認定の園児数も同様に減少している。1 号認定の希望者は稲枝東学区に認定こども園があること、今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

### ⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## (3) 稲枝北小学校区

### ①【地区の状況】

人口	2,158 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
世帯数	887 世帯（令和 7 年 4 月 1 日現在）
就学前施設	私立保育園 1 園

### ②【既存施設の定員】

【2・3 号認定】	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ことぶき保育園(私)	70	70	70	50	50
合計	70	70	70	50	50

③【既存施設の園児数】

【2・3号認定】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ことぶき保育園(私)	66	63	47	49	41
合計	66	63	47	49	41

④【就学前児童数の推移（各年4月1日現在）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
0歳	8	4	8	9	8
1歳	17	8	6	10	10
2歳	15	19	7	6	13
3歳	9	12	18	7	6
4歳	15	9	12	17	6
5歳	15	16	10	12	17
合計	79	68	61	61	60

⑤【就学前児童数の推計（各年4月1日現在）】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳	8	8	8	8	8
1歳	10	9	9	9	9
2歳	13	11	10	10	10
3歳	6	12	10	10	10
4歳	6	6	11	10	9
5歳	17	6	6	11	10
合計	60	52	54	58	56

⑥【他学区への通園・他学区からの通園状況(令和7年度)】

学区		他学区→稲枝北学区 (流入)		稲枝北学区→他学区 (流出)		増減 (流入-流出)	
中学校	小学校	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定	1号認定	2・3号認定
鳥居本	鳥居本	-	0	-	0	0	0
西	城北	-	0	0	-	0	0
	城西	-	0	0	0	0	0
東	城東	-	0	0	0	0	0
	佐和山	-	0	0	0	0	0
	旭森	-	0	0	0	0	0
中央	金城	-	0	0	0	0	0
	平田	-	0	0	0	0	0
南	城南	-	0	-	0	0	0
	城陽	-	0	0	0	0	0
	若葉	-	0	-	-	0	0
	亀山	-	0	-	0	0	0
彦根	河瀬	-	0	2	0	-2	0
	高宮	-	0	0	0	0	0
稲枝	稲枝東	-	6	2	2	-2	4
	稲枝西	-	0	-	2	0	-2
	稲枝北	-	35	-	35		
合計		0	41	4	39	-4	2

⑦【分析】

学区内の就学前児童数は年々減少しており、2・3号認定の園児数も同様に減少している。1号認定の希望者は稲枝東学区に認定こども園があること、今後も大きく増加する可能性は低いことから、新たに幼稚園・保育園・こども園を設置する必要性は低い。

⑧【公立幼稚園・保育所の今後の方向性】

公立幼稚園・保育所・こども園は、新たに設置しない。

## 5 施設ごとの年次整備計画

「第5章 4 地区別の状況と具体的方向性」を踏まえ、次のとおり年次的に整備を計画します。

施設名 (経過年数)	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度 以降	備考
彦根幼稚園 (35年)										整備を 再検討	P32 参照
高宮幼稚園 (40年)	③	――	――	――	――	――	――	――	――	――	P53 参照
稲枝東幼稚園 (48年)	③	――→	閉園								P56 参照
旭森幼稚園 (47年)	②	――	――	――	――	――	――	――	――	――	P38 参照
城北幼稚園 (46年)	①	――→	閉園								P30 参照
佐和山幼稚園 (37年)										整備を 再検討	P36 参照
城陽幼稚園 (33年)	②	――	――	――	――	――	――	――	――	――	P46 参照
西保育園 (38年)	③	――	――	――	――	――	――	――	――	――	P32 参照
東保育園 (33年)										整備を 再検討	P36 参照
ふたば保育園 (22年)											P52 参照
平田こども園 (8年)											P42 参照

※ 経過年数は、令和7年4月1日現在。

※ 矢印の範囲は、施設整備用地、運営事業者の決定、検討や設計、建設工事、閉園までの期間です。

※ 上記の表は現時点での状況から計画したものであり、今後の施設を取り巻く環境が変わる場合、適宜計画を修正します。

(施設整備の形態)

実線：下記の方向性で検討を進める。

破線：園児数が減少する場合には、下記の方向性で検討を進める。

- ① 民設民営の認定こども園に移行する。
- ② 民営の保育所と統合を検討し、民設民営の認定こども園に移行する。
- ③ 閉園する。

## 6 計画の推進

### (1) 市の推進体制 ●●●●●●●●

本計画は、計画策定担当課（幼児課）が中心となり、各公立幼稚園・保育所・こども園をはじめ、本市関係各課が情報を共有し、連携調整を図りながら推進します。

### (2) 計画の柔軟性の確保 ●●●●●●●●

本計画は見直しの方向性および時期を定めていますが、事業の執行にあたっては、その前提として施設整備用地や保育人材、多額の財源の確保が必要となり、これらの前提となる条件が大きく変われば、計画を適宜見直す必要があります。

さらに、社会経済情勢の変化や、民間事業者による保育所等の整備が行われ、教育・保育サービスの必要量が確保されれば、需要と供給のバランスを考慮して、計画を適宜見直す必要があります。

こうしたことから、本計画には柔軟性を確保する必要があります。

### (3) 年次整備計画以外の整備等 ●●●●●●●●

本計画では、施設ごとの年次整備計画（P60 参照）を示していますが、これ以外にも施設を維持管理していく上で必要となる整備（長寿命化、増改築）があります。

施設の現状維持を目的とする小規模な修繕については、随時対応することとし、教育・保育ニーズに対応するための施設の増改築については、需要と供給のバランス等を考慮した上で実施を検討します。

### (4) その他 ●●●●●●●●

幼稚園教諭と保育士が相互理解を深め、考え方を共有することが重要であることから、引き続き公立幼稚園・保育所・こども園間の人事異動や合同研修会等を実施します。また、今後の幼稚園については、教育・保育ニーズ量の将来推計を踏まえ、既存の民営保育所との統廃合による認定こども園化を随時進めていくこととします。

また、P60 の整備計画のように統合のみを進めていくだけでなく、本市の財政状況と照らし合わせた上で、地域・保護者の様々なニーズを汲み取りつつ、公立園でより魅力的な教育・保育を行えるように、様々な方策を随時検討することとします。





## 参考資料

---

### 1 彦根市子ども・若者会議条例

---

(設置)

第1条 子どもおよび若者に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、彦根市子ども・若者会議(以下「子ども・若者会議」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 子ども・若者会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「法」という。)第72条第1項各号に掲げる事項を処理すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、子どもおよび若者に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項について調査審議すること。

(組織)

第3条 子ども・若者会議は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 法第6条第2項に規定する保護者
- (2) 事業主を代表する者
- (3) 労働者を代表する者
- (4) 法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (5) 子どもおよび若者に関する施策に関し学識経験のある者
- (6) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第5条 子ども・若者会議に会長および副会長各1人を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、子ども・若者会議の会務を総理し、子ども・若者会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・若者会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長および副会長が選任されていないときは、市長が招集する。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 4 子ども・若者会議は、会議において必要があると認めるときは、関係者に対し、出席を求めてその意見もしくは説明を聴き、または必要な資料の提出を求めることができる。

(部会)

第7条 子ども・若者会議に、部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、前項の委員のうちから、会長が指名する。
- 4 部会長は、部会の会務を総理し、部会を代表する。
- 5 部会長に事故があるとき、または部会長が欠けたときは、会長の指名する部会の委員が、その職務を代理する。
- 6 前条(第1項ただし書を除く。)の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条第1項中「会長」とあるのは「部会長」と、同条第2項および第3項中「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。

(庶務)

第8条 子ども・若者会議の庶務は、こども家庭部において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、子ども・若者会議の組織および運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成26年3月27日条例第17号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

付 則(平成29年3月24日条例第4号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

付 則(令和5年6月15日条例第16号)

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(令和7年3月25日条例第10号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。

(彦根市職員の給与に関する条例および彦根市子ども・若者会議条例の一部改正)

- 2 次に掲げる条例の規定中「子ども未来部」を「こども家庭部」に改める。

- (1) 彦根市職員の給与に関する条例(昭和40年彦根市条例第2号)別表第4備考第3号
- (2) 彦根市子ども・若者会議条例(平成25年彦根市条例第36号)第8条

## 2 彦根市子ども・若者会議 委員名簿

50 音順

氏 名	所属団体	備 考
秋野 滋彦	滋賀県彦根子ども家庭相談センター	
川崎 敦子	特定非営利活動法人芹川の河童	副会長
北村 幸子	彦根保護区保護司会	
北村 里美	彦根市小・中学校校長会	
木ノ内 江以子	彦根市民生委員児童委員協議会連合会	
朽木 弘寿	特定非営利活動法人就労ネットワーク滋賀	
柴田 雅美	特定非営利活動法人 LINKS	
鈴木 祥子	認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス	
田中 裕子	滋賀県社会福祉協議会(つながり若者センター)	
田濃 良和	滋賀県高等学校長協会湖東ブロック	
永井 敬一	株式会社平和堂	
西川 正晃	岐阜聖徳学園大学	会長
沼波 洋子	公募	
野瀬 純一	社会福祉法人彦根市社会福祉協議会	
村田 朋弥	彦根地区労働者福祉協議会	
森田 清子	彦根市保育協議会	
山下 吉和	NPO 法人フリースクールてだのふあ	
吉田 美智代	彦根市立幼稚園・こども園長会	

### 3 計画策定の経過

年 月 日	内 容
令和 7 年 10 月 31 日	令和 7 年度 彦根市子ども・若者会議（第 1 回） 会場：彦根市福祉センター 別館 2 階多目的会議室 〈議事事項〉 1 彦根市子ども・若者会議の役割について 2 会長・副会長の選出について 3 彦根市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画の改定について 4 彦根市子ども・若者プラン令和 6 年度実績について



## 彦根市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画

発 行：彦根市  
編 集：彦根市こども家庭部幼児課  
住 所：〒522-0041  
滋賀県彦根市平田町 670 番地  
T E L：0749-23-9597  
F A X：0749-26-1768  
発行年月：令和 8 年 3 月